

官

報

號外

明治四十三年三月十九日

土曜日

印 刷 局

○ 第二十六回 帝國議會衆議院議事速記錄第二十四號

學制改革ニ關スル建議案

提出者

松田正久君

原

敬君

元田肇君

大岡育造君

明治四十三年三月十八日(金曜日)午後一時九分開議
議事日程 第二十三號 明治四十三年三月十八日

一昨

十七日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治四十年法律第五十二號中改正法律案外一件

小川平吉君

塚田啓太郎君

板倉中君

大熊三之助君

中君

水品平右衛門君

川村暉君

大野孫太郎君

高木正年君

倉

高木益太郎君

阪本彌一郎君

高木孫太郎君

熊三之助君

和夫君

國稅徵收法改正ニ關スル建議案

神前修三君

河野郁太郎君

吉野孫太郎君

大岡育造君

敬君

井上信作朗君

古井由之君

高木正年君

大熊三之助君

河井重藏君

小橋榮太郎君

多木条次郎君

高木益太郎君

和夫君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

明治四十年法律第五十二號中改正法律案外一件委員會

委員長

小川平吉君

吉野孫太郎君

敬君

國稅徵收法改正ニ關スル建議案委員會

委員長

河井由之君

高木正年君

大熊三之助君

和夫君

第一讀會ノ續(報告)

委員長

古井由之君

吉野孫太郎君

和夫君

第一讀會ノ續(報告)

委員長

河井由之君

吉野孫太郎君

和夫君

○川原茂輔君

議長

長谷場純孝君

マダ會議ヲ開キマセバ

御許ヲ願ヒマス

○川原茂輔君

臺灣銀行法中改正法律案ノ委員會

本會議中ニ開キタイト思ヒマス

スカラ御許ヲ願ヒタス

ト

○議長(長谷場純孝君)

是ヨリ會議ヲ開キマセバ

御許ヲ願ヒマス

ト

○川原茂輔君

臺灣銀行法中改正法律案ノ委員會

本會議中ニ開キタイト思ヒマス

スカラ御許ヲ願ヒタス

ト

○議長(長谷場純孝君)

特別委員ノ本會ノ時間中ニ開會スルコトハ、豫テ議院ノ

許可ヲ得テ居リマスカラ、直ニ御開ニナシテ差支ゴザイマセバ

ト

○川原茂輔君

特別委員會ヲ開キマスカラ委員諸君ハ第二面談室ニ御出ヲ願ヒマス

ト

ト

ト

○議長(長谷場純孝君)

此際御詣ヲ致シマス、諸君ノ議席ニ配付シテアリマス通り、

ト

ト

ト

○議長(長谷場純孝君)

貴族院ニ於テ關稅定率法改正法律案ヲ修正シテ回付シ來リタルニ依リ、茲ニ議事日

程ヲ變更シテ之ヲ議題トナシ、貴族院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤヲ決シタイト思ヒマス、御

異議アリマセヌカ

○元田肇君

此問題ハ政府案ノ議事日程ニ載テ居リマスノヲ、議了シタ後ニ徐ロニ

審議シタイト思ヒマスノデ、ソレヲ申立ヲ致シマス

ト

○議長(長谷場純孝君)

是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

ト

ト

ト

(書記朗讀)

一貴族院ヨリ回付セラレタル政府提出案左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

○議長(長谷場純孝君) 今開キタイト云フコトニ異議ナシト云フ聲があり、今ノ元田君ノ動議ニモ異議ナシト云フ聲があり、採決ヲ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 採決ヲ致シマス、元田君ノ動議ハ、即チ此關稅定率法改正法律案ノ貴族院カラ回付サレタモノハ、本日ノ議事日程中政府案ヲ讀了シタ後ニ於テ緊急動議トシテ議シタイ、此ノ如キノ動議アルト思ヒマス

(元田君) 左様其通り下呼フ

○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數、因テ此貴族院カラ回付サレタ關稅定率法改正法律案ハ、本日ノ議事日程中政府提出案ヲ讀了シタ後ニ於テ議スルコトニ致シマス

日程第一乃至第六ハ豫算案タルニ依リ、併セテ委員長ヨリ報告ヲ致セマス、委員長鳩山和夫君

第一 (第二號) 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案

第二 (特第一號) 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

第三 (追第三號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第四 (第三號) 明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

第五 (特第二號) 明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案

(鳩山和夫君登壇)

○鳩山和夫君 諸君、日程ノ第一カラ第六ニアリマスル追加豫算ハ、分科會ヲ開いて審査ヲ遂ゲマシタ、而シテ其結果ハ總テ原案ヲ可決スベキモノト決定致シマシタ、先ツ此中テ重要ナルモノヲ拾テ御報告致シマスレバ、河川ニ關スル繼續費、即チ渡良瀬川及

庄川ニアリマス、是が本年度ノ年度割ハ十八万四千圓アリマスルガ、總計ハ七百五十七万圓トナシテ居ル、今一ツハ特別會計ニアリマスルガ、是ハ臺灣ト内地トノ間ニ唯今マテハ海底電線ガ一本ニアリガ、之ヲ複線ニスルト云フノアッテ、是モ複線ニスルト云フ必要ハ皆認メタノアリ、唯其金ノ出所ニ付キマシテ、今度ノ案ハ臺灣ノ特別會計ニ於テ借入金ヲ以テ爲スト云フノニ付テ多少議論ガアリマシタ、之ニ付テハ分科會ニ於テ希望ヲ述べテ、即チ一ツニハ事業ノ統一、一ツニハ財政ノ統一ト云フコト、此二ノ希望ガアッタ、事業ノ統一ト云フノハ、從來ノ一本ノ線ハ遞信省ヲアゲテ設シテアルノニ、今度ハ内務省所管ニ於テ臺灣ノ特別會計ニ於テ之ラスルト云フ、一ハ臺灣ガ其責ニ當リ、一ハ遞信省が其責ニ當ルト云フヤウナコトハ事業ノ統一ヲ缺クト云フコトデ、是等ノコトハ成ルベク事業ヲ統一スル方が得策アルト云フ希望ヲ述べ、政府モ將來ニ於テ成ルベク其方針ヲ採ルト云フ趣意ニ於テ答辯ヲ爲シ、又財政ノ統一ヲモ要スルト云フ希望ガ出マシタ、此財政ノ統一ト云フコトニ付キマシテハ、チヨト簡単ニ委員長ハ此所ニ御話スルヨリハ、寧ロ速記ニ就テ希望及政府ノ答辯ヲモ見テ戴ク方ガ誤リナリ

ト考ヘマスカラ、私ハ此所ニ略シマス、其外ハ別ニ此所ニ特ニ申上ダル程ノモノアリマスカ、モウ一ツハ韓國ノ永登浦ト云フ處ノ郵便局ガ火災ニ罹リテ、之ヲ造ラケレバナラヌト云フノア、其金高ガ八千百六十圓バカリ、重モナルモノハ是位ノモノアリマス、其他ハ報告書ニ依テ御承知ヲ願マヒス

第七 外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)

(尾崎行雄君登壇)

○尾崎行雄君 外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過、及結果ヲ御報告致シマスか、大分本議會中テハ大切ナ問題ト思ヒマス故ニ、少シク詳細ニ經過ヲ報告スルコトヲ許サレタク希望致シマス、先ツ第一ニ此委員會ノ經過ヲ報告スルニ方

テ、本員ノ喜ビニ堪エヌノハ國民自信力ノ増加シタ云フ、一黠テアリマス、若シ十年若ハ二十年前ニ方テ此ノ如キ問題ガ起リマシタラバ、世ノ中ニハ冷靜ニ之ヲ考慮スルコトが出來ズシテ、殆ド狂亂的態度ヲ以テ迎ヘルモノが必ズ多カッタニアラウト思ヒマスが今

ヤ我帝國ノ人民モ大國民タルノ襟度ヲ備ヘテ、此ノ如キ問題ニ遭遇シテモ少シモ發狂的態度ヲ示サヌト云フコトハ、本員ノ最キ喜ブトコロデアリマス、即チ帝國人民ガ大國民タルノ自信力ハ近來大ニ増加シタ云フコトハ明カニ委員會ノ經過ニ於テ説明サレマシタノデゴザイマス、委員會ハ幾多ノ質問應答ノ末、大分修正ヲ加ヘマシタカラシテ、先ツ此修正ノ箇條々々ニ付テ御報告ヲ致ス前ニ、原案ト修正案ト異ナル黠ヲ報告致サウト思ヒマスルガ、最モ大切ナル點ハ、原案ハ相互主義ト云フ原則ニ基イテ殆ド無制限

ニ――第二條ニ於テ北海道、臺灣、樺太、國防上必要ナル地域、是ダケヲ取除イタルノデゴザイマス、委員會ハ幾多ノ質問應答ノ末、大分修正ヲ加ヘマシタカラシテ、先ツ此修正ノ箇條々々ニ付テ御報告ヲ致ス前ニ、原案ト修正案ト異ナル黠ヲ報告致サウト思ヒマスルガ、最モ大切ナル點ハ、原案ハ相互主義ト云フ原則ニ基イテ殆ド無制限

外ハ殆ド無制限ニ許可ヲ與ヘルト云フノガ原案ノ趣意アリマシタガ、無制限ニ開放スルコトノ得策ナラザルヲ認メマシテ、第一ニ居住ノ制限ヲ付ケマシタ、個人ニ對シテハ居住ノ制限ヲ立テマシタ、ソレカラ外國法人ニ對シテハ登記ヲ受クルト云フコト、ソレカラ内務大臣ノ許可ヲ要スルト云フ、此二條件ヲ附加ヘマシタ、原案ハ外國法人モ、亦一

私人モ同様ノ扱い、何等ノ制限モナク扱フヤウニ出來テ居リマシタガ、一私人ニ付テハ居住――住所及居所ヲ持テ居ルト云フ制限ヲ加ヘ、ソレカラ外國法人ハ唯外國人

ハ此所ニ御話スルヨリハ、寧ロ速記ニ就テ希望及政府ノ答辯ヲ受ケマシタ、若シ處分セザルトキハ其土地ハ國庫ニ歸屬スルト云フコトニナルノデアリマス、何故ニ委員會ガ此ノ如

○伊藤大八君 本案ハ一括シテ豫算委員長ノ報告通り可決セんコトヲ希望致シマス(賛成タク)「聲起ル」

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ、括シテ議題ニ供シマス、即チ日程ノ第一ヨリ第六マテ、一、第二號、明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案、二、特第一號、明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案、三、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、四、第三號、明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案、五、第三號、明治四十三年度歲入歲出豫算追加案、六、特第二號、明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案――豫算委員長ノ報告

二御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議がナイト認メマスカラ委員長ノ報告通り、第一ヨリ第六マテ確定致シマス、日程第七、外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案第一讀會ノ續、委員長尾崎行雄君

メデモナク、外國人ニ對シテ危惧ノ念ヲ懷クタメデモ何デモアリマセケレドモ、若シ無制限ニ所有權ヲ與ヘマスルト、或ハ起シテ來ラウカト思フ心配ハ、第一ニ日本ニ在住シナイテ外國ニ始終居テ、サウシテ此土地ノ直段ノ騰貴スルト云フコトヲ目的トシ、即チ投機ノ目的ヲ以テ資本ヲ土地ニ下スモノが多ク出來ハシマイカ、ソレモ大シタコトハナカラウト思ヒマスガ、出來タトキニハ隨分不愉快な結果ヲ生ズルモノアツテ、現ニ英吉利ノ如キモ愛蘭土地所有者ハ愛蘭ニ住ハズシテ、大層ナ地面ヲ持ツテ居ルガタメニ人情——情誼ガ土地所有者ト、ソレヲ借リテ居ル人トノ間ニ少シノ情誼ガ通ゼザルタメニ、非常ナルウルサイ面倒ナコトガ生マテ居リマスル、同シ人種一極メテ近イ殆ド同一人種ト云ツテモ宜シイモノ、間デスラ、地主トソレヲ借リテ居ル者トノ間ニイロ／＼誤解ガアツテ、紛擾ノ種トナリマスル故ニ、之ヲ居住ト云フコトヲ條件ニシタ方ガ宜カラウト云フタメニ、原案ニ居住ノ修正ヲ加ヘマシタ、ソレカラ又若シ日本ノ地面ヲ買ツテ利益ガアレバ、法人團體ニ無制限ニ許シマスルトキニ、地面買占ト云フが如キ會社ヲ結シテ、土地ニ資本ヲ下スト云フ目的テ會社ヲ結シテ、資本ヲ日本ノ土地ニ投シテ買占ニ掛ルト云フコトモ是ハアリ得ルコト、云フ考デ、又或ル程度マテハアツテモサウ強テ裏フルコトナキノミナラズ、場合ニ依テハ或ハ帝國ノ利益ニナルコトモアリマセウガ、免ニ角サウ云フ利ノアル處ニハ亦必ズ弊ガ伴フモノニアリマスカラ、大ナル會社ガ出來テ、大ニ地面ヲ買占メル場合ニ於テハ、弊モ必ズ從テ生ズル故ニ、先ア法人團體ニハ斯様ナ目的ヲ以テ日本ノ土地ヲ所有スルコトハ許サヌ方ガ宜カラウト云フ考デ之ヲ入レマシタ、此ノ如キ條件ヲ附スルニ對シテハ、外務大臣其他政府委員ハ賛成ハ致シマシタガ、餘り必要デモナイト云フチ居所及事務所等ヲ持ツテ、製造工業其他ノ仕事ヲシテ行クタメニ必要ナル地面ゲケハ買フコトヲ許シテ、其他單ニ土地ノ騰貴ヲ待ツテ、投機賣買ノ目的ヲ以テ買ウト云フ者ラバ制限ヲ加ヘて置イタ方ガ宜カラウト云フ考デ之ヲ入レマシタ、此ノ如キ條件ヲ附スルニ對シテハ、外務大臣其他政府委員ハ賛成ハ致シマシタガ、餘り必要デモナイト云フヤウナ意味ヲ常ニ述ベラレテ居リマシタ、其意味ハ縱シ全部無條件ニシテ開放シタトコロガ、西洋人ガ——外國人ガ來テ土地ヲ大ニ買占メル、土地ヲ所有スル者ハナイト云フコトガ論據ノヤウデアリマシテ、即チ買占メラル、處、即チ北海道、臺灣、樺太等ノ如キハ除イテアルカラ宜イデハナイカト云フノニアリマスケレドモ、委員多數ノ見込ミニ依リマスルト、却テ此ノ如ク人口稀疎ナル處ニ對シテハ土地ニ向シテ資本ヲ下ス者ガ比較ニ少ナイノデアル、イレテ土地ニ向シテ資本ヲ下スノハ政略上ノ意味デモ何デモナイ、唯利益ノ意味デアリマスカラ、利益ヲ得タイト云フノガ目的ニアリマス、土地ニ利益ノ生ズルト云フノハ、人ガアツテ、人口稠密ニナシテ、初メテ利益が增加スルノデ、人ノナイ處ノ土地ハ殆ド無代價ト同モノニアリマシテ、臺灣ナリ、北海道ナリ、樺太ノ如キハ人口稠密ニナツテ、此價ノ大ニ増加スルコトハナカノ、容易ナコトデハナイ、故ニ此ノ如キ場所ニ向シテ資本ヲ下スモノハ餘リナカラウト思フケレドモ、現在人口極メテ稠密デアツテ、而モ其價格極メテ低クアルトコロノ都會、若ハ時勢ノ變遷ニ依シテ俄ニ都會トナルベキ今日ノ村落モ、其他ニ向シテ資本ヲ下スノアル、亞米利加ノ例ヲ見テモ、或ハ亞弗利加アタリニ投機の目的ニ地圖ニ資本ヲ下ス例ヲ見テモ、何處ヲ見テモ皆其通り、都會、若ハ將來都會トナルベキ目的ノアル處ニ向シテハ資本ヲ下スマスケレト云フカ如キ處ニ向シテ、外國人ハ主シテ資本ヲ下スノアル、故ニ此ノ如キ場所ニ向シテ資本ヲ下スモノハ餘リナカラウト思フケレドモ、現在人口極メテ稠密デアツテ、而モ其價格極メテ低クアルトコロノ都會、若ハ時勢ノ變遷ニ依シテ俄ニ都會トナルベキ今日ノ村落モ、其他ニ向シテ資本ヲ下スノアル、亞米利加ノ例ヲ見テモ、或ハ亞弗利加アタリニ投機の目的ニ地圖ニ資本家ノ目カラ見テ如何ナルモノアルカト申シマスルト、大分有利ナル場所アルト云フ事實ハ著々證明セラル、ノアリマス、第

一人口ノ移動ハ現在日本概略五千万ノ人口ノ内、都會ニ住テ居ル者ガ凡ツ一千萬人——都會ニ住テ居ル者ガ一千万人カリ、村落ニ住テ居ル者ガ四千万人程ニナツテ居リマスルカ、此狀態ハ直ニ變ハルノデアル、一番近イ例ハ李漏西——獨逸聯邦ノ一番大キナ字漏西カ何ヨリノ例ニアラウト思ヒマス、アレハ佛蘭西戰爭時代ニ於テハ人口ノサイ面倒ナコトガ生マテ居リマスル、同シ人種一極メテ近イ殆ド同一人種ト云ツテモ宜シイモノ、間デスラ、地主トソレヲ借リテ居ル者トノ間ニイロ／＼誤解ガアツテ、紛擾ノ種トナリマスル故ニ、之ヲ居住ト云フコトヲ條件ニシタ方ガ宜カラウト云フタメニ、原案ニ居住ノ修正ヲ加ヘマシタ、ソレカラ又若シ日本ノ地面ヲ買ツテ利益ガアレバ、法人團體ニ無制限ニ許シマスルトキニ、地面買占ト云フが如キ會社ヲ結シテ、土地ニ資本ヲ下スト云フ目的テ會社ヲ結シテ、資本ヲ日本ノ土地ニ投シテ買占ニ掛ルト云フコトモ是ハアリ得ルコト、云フ考デ、又或ル程度マテハアツテモサウ強テ裏フルコトナキノミナラズ、場合ニ依テハ或ハ帝國ノ利益ニナルコトモアリマセウガ、免ニ角サウ云フ利ノアル處ニハ亦必ズ弊ガ伴フモノニアリマスカラ、大ナル會社ガ出來テ、大ニ地面ヲ買占メル場合ニ於テハ、弊モ必ズ從テ生ズル故ニ、先ア法人團體ニハ斯様ナ目的ヲ以テ日本ノ土地ヲ所有スルコトハ許サヌ方ガ宜カラウト云フ考デ之ヲ入レマシタ、此ノ如キ條件ヲ附スルニ對シテハ、外務大臣其他政府委員ハ賛成ハ致シマシタガ、餘り必要デモナイト云フチ居所及事務所等ヲ持ツテ、製造工業其他ノ仕事ヲシテ行クタメニ必要ナル地面ゲケハ買フコトヲ許シテ、其他單ニ土地ノ騰貴ヲ待ツテ、投機賣買ノ目的ヲ以テ買ウト云フ者ラバ制限ヲ加ヘて置イタ方ガ宜カラウト云フ考デ之ヲ入レマシタ、此ノ如キ條件ヲ附スルニ對シテハ、外務大臣其他政府委員ハ賛成ハ致シマシタガ、餘り必要デモナイト云フヤウナ意味ヲ常ニ述ベラレテ居リマシタ、其意味ハ縱シ全部無條件ニシテ開放シタトコロガ、西洋人ガ——外國人ガ來テ土地ヲ大ニ買占メル、土地ヲ所有スル者ハナイト云フコトガ論據ノヤウデアリマシテ、即チ買占メラル、處、即チ北海道、臺灣、樺太等ノ如キハ除イテアルカラ宜イデハナイカト云フノニアリマスケレドモ、委員多數ノ見込ミニ依リマスルト、却テ此ノ如ク人口稀疎ナル處ニ對シテハ土地ニ向シテ資本ヲ下ス者ガ比較ニ少ナイノデアル、イレテ土地ニ向シテ資本ヲ下スノハ政略上ノ意味デモ何デモナイ、唯利益ノ意味デアリマスカラ、利益ヲ得タイト云フノガ目的ニアリマス、土地ニ利益ノ生ズルト云フノハ、人ガアツテ、人口稠密ニナシテ、初メテ利益が增加スルノデ、人ノナイ處ノ土地ハ殆ド無代價ト同モノニアリマシテ、臺灣ナリ、北海道ナリ、樺太ノ如キハ人口稠密ニナツテ、此價ノ大ニ増加スルコトハナカノ、容易ナコトデハナイ、故ニ此ノ如キ場所ニ向シテ資本ヲ下スモノハ餘リナカラウト思フケレドモ、現在人口極メテ稠密デアツテ、而モ其價格極メテ低クアルトコロノ都會、若ハ時勢ノ變遷ニ依シテ俄ニ都會トナルベキ今日ノ村落モ、其他ニ向シテ資本ヲ下スノアル、亞米利加ノ例ヲ見テモ、或ハ亞弗利加アタリニ投機の目的ニ地圖ニ資本家ノ目カラ見テ如何ナルモノアルカト申シマスルト、大分有利ナル場所アルト云フ事實ハ著々證明セラル、ノアリマス、第

六割ハ村落ニ住テ居テ、都會ニ住テ居タ者ハ四割程ニアツテ、四分六分ノ關係ニアツテハ八割ノ人口ハ未ダ村落ニ住テ居テ、都會ニ住テ居ル者ハ僅カ一割ヨリナイト云フコトハ、是ハ非常ニ他ト異ナシタ狀態デアツテ、此狀態ハ決シテ長ク維持セラルベキモノニアリト委員ノ多數ハ見込ダノアリマス、製造工業が一度起リマスレハ總アソレが都會ニナル、箱根ノ山中ト雖モ紡績會社ガ起レバ、アノ山中ニ既ニ餘程ノ都會が出來ルト云フが如キ、將來製造工業ノ進歩スルモ從テ人口ハ皆都會ニ集注スル、斯ク都會ニ集合爲シテ、村落ノ人口ハヤハリ遠カラズシテ全國ノ人口ノ四割カソラニ減ル形勢ヲ持ツテ居ルノアリマス、斯ク都會ニ集マル場合ニ於テハ、都會ノ地面ノ騰貴スルコトハ非常ニ甚シクナルト云フコトモ亦勢ヒノ自然デアル、而シテ都會中最モ大ナル東京ノ現在ノ地價がドノ位アルカト云フコトハ、ハッキリ分リマセウガ、現在ノ地價ヲ申シマスレバ、東京全體ニ於テ法定地價ハ僅ニ一千万圓餘リデアリス、殆ド一人ノ身代トシテモ先ア小身代位ノ價値ヨリ外ハナイ、之ヲ十倍ト見タトコロデ一億圓、實際ガ二十倍トシテモ二億圓、三十倍ト見ルト云フコトハ餘リ高ク見過ギタ論デアリマセウガ、現在ノ地價ハ法定地價ノ三十倍ト見タトコロガ僅カ三億圓、先ア少シ金持チノ上ノ中位ノ身代ニ過半マセウ、此ノ如ク廉イ村落同様ナ直段ガ何時マテモ維持セラル、苦ノモノアヘナイ、現ニ倫敦、紐育ノ如キハ一坪三万若ハ四万圓ニ當ル地面スラアルノニ、我東京ニ於テハ恐ラクハ一坪三百圓ト云フ處ハ殆ドナイアリマセウ、先年京橋カラ萬世橋ニ參リマスル間、即チ東京市ニ於テハ最モ地位高價ナ處ニ當テ居ル處、市區改正ヲ致シタコトガアリマス、一昨年カラ昨年ニ掛ケテ致シマシタガ、此時ニ京橋カラシテ万世橋ニ至ルマテ、ズット大通リヲ買ヒマシタガ、是ガ一坪平均百二十圓デアツテ、少シモ賣人ニハ苦情ガナカッタノアリマス、平均百二十圓デ買ヒマシタ、一私人ノ賣買ハ必シモ之ヲ以テ推スコトハ出來マスマイケレドモ、如何ニ我東京市ノ地價ハ殆ト無代價同様ニ廉イカト云フコトが其一例ヲ以テ分ルノアリマス、他ノ國ニ於テハ一坪三万若ハ四万圓ト云フノニ、我國ニ於テハ百二十圓平均デ東京目貫ノ場所ガ苦情ナシニ買ヘタノアリマス、個人ガ買シテモ恐ラクハ二百五十圓平均カ一百圓平均デ買タナラバ、ズット買ヘルカモ知レマセウ、故ニ一坪百二十圓ト云フ相場ハ近イ中ニ五百圓トナリ、千圓トナリ、或一万圓位マテ上ルベキ時期ハサウ遠クナイ將來ニ來ルデアラウカト思ハレマスル、サウシテ見レバ我都會ノ土地ニ向シテ資本ヲ下スノモノハ決シテ有利デナイト云フ譯ニハ往カナイ、現ニ丁度今カラ二十年前、彼ノ三菱が丸ノ内及三崎町ニ、無慮十万坪ノ地面ヲ陸軍省カラ買受ケマシタガ、是ガ一坪平均十二圓弱アリマス、坪平均十一圓ニナツテ居リマセウ、僅カ二十年前アリマス、其地面ハ今日ハ如何ニ、丸ノサウシテコトハシナイ、而シテ日本ノ都會ハ資本家ノ目カラ見テ如何ナルモノアルカト申シマスルト、大分有利ナル場所アルト云フ事實ハ著々證明セラル、ノアリマス、第

テ居ルニアリセウ二十年以前ニ僅カ十二圓バカリテ買シタモノガ、二十年後ノ今日ニ於テモ百二三十圓ノ處モアリマス、之ヲ平均シテモ七十圓乃至八十圓位ノ平均ニナルダアラウ、即チ一年ニ毎年二割乃至四割ノ騰貴ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ如ク安全ニシテ且勝貴率ノ高イ處ハ世界ノ中ニ少ナイトハ言ハナイケレドモ、サウ多クナイト思ヒマス、故ニ資本ノ裕ナル外人が此事實ヲ知シテ以上ハ、之ニ資本ヲ下ス者ノアルト云フコトハ先ア豫想シタ方が安全デアリマス、政府當局者ノ如キ先年内地雜居ヲ許シタケレドモ、誰モ一向人ハ來ナカッタ、却テ其以來外國人ノ數々減シタ位デアルカラ、今日土地ハ開放シテモ決シテ持チ手ハナイト云フヤウナ、輕々ナル考ヲ以テ土地全體ヲ開放スルコトハ、決シテ事實ト結果トハ違フベキ關係ヲ生ズルト考ヘタノデアリマス(拍手起ル)内地雜居ヲ許シテモ、ナゼ來ナイカ、是ハ來ナイ理窟ガアルカラ來ナイノデアル、内地雜居ヲ許シテ來ル者ハ、商賣ヲシテ大ニ利益ガアルカ、我國ニ住ツテ居ルノガ非常ニ幸福ヲ享ケルカ、何カナケレバ來ナイ、商賣ヲシテモ利益ガナイ、隨分利益ノアルベキ土地ハ開放セラレナイ、禁ゼラレテ居ル、商賣ノ利益ハナイ、來タトコロガ芝居ヲ一つ見ルコトモ出來ナイ、殆ド三日ト樂ムコトノ出來ナイ、東京ノ如キ大都會ト雖モ二日間引續イテ樂ムコトモ出來ナイト云フヤウナ處ニ、何ソ狂氣染ミテ續々入シテ來ルモノデナイン、内地雜居ヲ許シテモ外國人が澤山入シテ來ルコトハ初メカラ分ツテ居ツタ、併ナガラ土地ハ違フ、土地ハ買ツテ置ケバ買方ニ依レバ一年寢カシテ置テ、二割カラ或ハ五割位ノ利益ハアルノアリマスルカラ、利ノアル處ヘへ資本ノ來ルモノデアルガ故ニ、内地雜居ヲ許シテモ外國者ガアルデアラウト云フコトヲ豫想シテ置イタ方ガ確デアル、若シ來ナカッタナラバ決シテ害ハナイノデアル、若シ豫想セズシテ開放スレバ狼狽スルニ違ヒアリマセヌガ故ニ、之ヲ豫想シタ方ガ安全デアルト云フタメニ、先づ個人ニ付テハ在住ト云フ制限ヲ加ヘ、法人ニ付テハ登記ヲ受ケルト云フコト、内務大臣ノ許可ヲ受ケルト云フ制限ヲ加ヘタノハ其意味アリマス、次ニ原案ト修正案トノ主義ノ一致シテ居ルトコロハ相互主義モアリマスガ、原案ハ締盟列國中我國ニ土地所有權ヲ許ストコロノ國人ニ向シテハ、我モ亦之ヲ許スト云フ相互主義デ押シテ往クト云フ原案ノ意味デアリマス、其相互主義モ條約ニ依シテ相互通意シタノデアリマス、唯之ニ同意スルニ當ツテ委員中、殊ニ多ク議論ノ起シタノハ米國トノ關係ヲ如何ニスルト云フ問題デアリマス、米國ニ對シテ如何ニ相互主義ヲ適用ラス、我法律ニ依シテ相互主義ヲ行フト云フ原案デアリマシテ、委員ハ之ニハ同意致シマシタ、條約ヲ以テ相互主義ヲ行ハズ、我法律ヲ以テ相互主義ヲ行フト云フコトニ同意シタノデアリマス、唯之ニ同意スルニ當ツテ委員中、殊ニ多ク議論ノ起シタノハ米國トノ關係ヲ如何ニスルト云フ問題デアリマス、米國ニ對シテ如何ニ相互主義ヲ適用ラス、我法律ニ依シテ相互主義ヲ行フト云フ原案デアリマシテ、委員ハ之ニハ同意致シマシタ、條約ヲ以テ相互主義ヲ行ハズ、我法律ヲ以テ相互主義ヲ行フト云フコトニ同意シタノデアリマス、此國ニ向シテ相互主義ヲ適用スルト云フコトハ餘程困難デアル、絕對的ニ相互主義ヲ適用シヤウト云フナラバ、殆ド出來ナイ相談デアル、是ニ於テ政府ノ意嚮ヲ確メマスト、政府ハ各洲區々獨立シタ立法權ヲ持ツテ居ツテ、土地所有權ノ如キモ之ヲ許ストモ禁ズルトモ、或ハ一旦許シタ後更ニ之ヲ禁ズルトモドウスルトモ皆自由在デアリマスルガ故ニ、此國ニ向シテ相互主義ヲ適用スルト云フコトハ中央政府ノ意思ヲ以テ之ヲ一定スルコトが出來ルナラバ、此相互主義ノ適用ハ極メテ樂デアリマスケレドモ、御承知ノ如ク各洲各々獨立シタ立法權ヲ持ツテ居ツテ、土地所有權ノ如キモ之ヲ許ストモ禁ズルトモ、或ハ一旦許シタ後更ニ之ヲ禁ズルトモドウスルトモ皆自由在デアリマスルガ故ニ、此國ニ向シテ相互主義ヲ適用スルト云フコトモ我ハ與ヘル意味デアルト云フ説明デアリマスルガ、無論サウスルヨリ外ニ仕方ハナイコト、思ヒマスルガ、

サウスルト其ヤリ方ヲ下手ニ致シマスルト、唯名義上ノ相互デアッテ、事實ハ全ク不互ニ陷ルノデアリマス、我帝國臣民ガ米國ヘ行シテ土地ヲ所有スルト云フノハ他日ハ卒サ知ラズ、當分ノ間ハドウシテモ主トシテ太西洋沿岸諸洲ガ主ナルモノデアッテ、紐育、其他東海岸諸洲ニ向シテ地面ヲ持ツト云フコトハ、先づ當分ハシナイデアラウシ、又シヤウト思シテモ餘程困難デアラウカト思フ、然ラバ我國ガ相互主義ニ依シテ此方カラ進ンデ持得ル處ハ太西洋沿岸諸洲ニ過ギナイガ、向フが來シテ資本ヲ下シ得ル處ハ此法律ニ於テ除外シテアル外ハ日本何レノ處ニ於テモ下サウト思ヘバ資本ヲ下スコトが出來ル、又之ヲ下スニ當シテ強テ困難ヲ感ズルコトハナイノデアリマス、故ニ此適用如何ニ於テハ名ハ相互デアッテ、事實ハ不相互ト云フ結果ヲ生ズルガ故ニ、外務大臣ニ向シテハ其邊ニ付テ餘程良ク考慮ヲ費スヤウ委員會ニ於テハ條件附ト云フニ近イ程ノ註文ヲ致シテ居ル、又外務大臣モ其意ヲ諒トシテ、是ハ十分ニ考慮ヲ費スト云フコトニナツテ居リマスル、即チ此適用ニ於テハ本案ノ第一條ノ第二項「前項ノ規程ハ勅令ヲ以テ指定シタル國ニ屬スル外國人、及外國法人ニノミノヲ適用ス」トアリマスル故ニ、亞米利加、其他ノ列國ニ土地所有權ヲ與ヘルヤ否ヤト云フコトハ勅令ヲ以テ公布スル譯デアリマセウガ、此勅令ノ公布ニ當リマシテハ餘程我權利ヲ確メタ後ニ公布ヲ致シマセスト、却ア此法律が制定セラレタタメニ逆撃ヲ受ケテ、外務省、若シ軟弱デアリマスルト、向フカラサア法律ニ依シテ我ニ早ク所持權ヲ與ヘヨ、與ヘルトコロノ勅令ヲ發布セヨト、却ア逆撃ヲ食フト云フ憂モナインオテハアリマセヌ、故ニ我權利ヲ十分確メタ後ニ勅令ヲ發布スルト云フ手續ニ多少遼運ブデアラウト思ヒマスルガ、外務大臣モ其點ニ於アハ十分ノ考慮ト慎重ナル方策ヲ執ルト云フ明言ガアリマスガ故ニ、吾ハ内閣ヲ信任シテ、即チ之ヲ内閣ノ責任問題トシテ是ニ於テ誤レバソレハ内閣ノ責任デアル、内閣ガ法律ノ適用ヲ誤シタモノデアルト云フ即チ責任問題トシテ之ニ勵キノ自由ヲ與ヘタイノデアリマス、其次ニ起シタ大切ナ問題ハ直接ニ此問題ニ關係ハ致シマセヌガ、間接ノ關係デ是モ重大ニシテ、且帝國ノ體面ニ關係スルノハ地上權ノ解消デアリマス、地上權デハナイン、永代借地權問題ノ解消デアリマス、今我帝國ニ於テハ舊條約ノ遺傳物、即チ我外交ノ失敗ノ紀念物トモ稱スベキ永代借地權ト云フ一種不可思議ノモノガアッテ、殆ド土地所有權以上ノ權力ヲ之ニ持タレテ居ルノデアリマス、此法律ヲ制定シテ之ヲ實行スルニ當ツテハ、是非トモ此失敗セル外交ノ紀念物ヲ取除キタトイト云ノコトハ自然御同様ノ腦中ニ浮ブトコロノ問題デアッテ、即チ委員會ニ於テハ此問題ニ付テハ餘程質問セアリマシタガ、其結果外務大臣ニ於ハ是ハ此別問題トシテ永代借地權ハ片付ケル見込スルト云フノミニラズ、恰モ片付ケル殆ド成算デアルカノ如キ答辯デアリマシタ、故ニ是亦十分ノ自由ヲ與ヘテ、其内閣ノ責任ヲ以テ是ハ是非近イ中ニ片付ケテ貴フト云フ意味ヲ以テ此法律ヲ贊成スルノ要件ト致シタノデアリマス、其他相續、及贈遺ニ關スル場合ハ此法律ニ於テハ規定ヲ致シテ居リマセヌガ、是ハ列ノ特別法ヲ以テ規定スル約束デアリマス、加之ソレニ類似シタ其諸般ノ法律勅令若ハ命令ノ如キ、現行ノモノハ總テ土地所有權ヲ外國人ニ與ヘナイト云フ状態ノ下ニ出來タ法律命令規則デアリマスルガ故ニ、今日土地所有權ヲ與ヘルト云フコトニナリマスルト、其影響ハ餘程多クノ法律、勅令、命令等ニ及ブノデアリマスル故ニ、是等ハ總テ取調ベテ政府限リテ改正ノ出來ルモノハ改正シ、立法ノ手續ヲ要スルモノハ次ノ議會マニ提出スルト云フコトモ又本案賛成ノ條件ノ一ツナツテ居リマス、之ヲ要スルニ此法律ハ我帝國ノ進歩ノ程度、既ニ外國人ニ土地所有權ヲ與

ヘ、世界文明國ノ通議ニ依シテ總アノコト對等ナル附合ヒヲ爲シテ差支ナイト云フ根據ニ依シテ制定セントスルモノアリマスルケレドモ、間接ノ影響ヲ云ヘバ、此法律ハ又對等條約ヲ決定スルガタメニハ幾多ノ便利ヲ與ヘルト云フコトハ疑ラ容レナイ問題デアリマス、條約改正ノタメニ提出シタ法案デハナイニ違ヒナイケレドモ、併ナガラ此制定ノ結果ハ條約改正ノタメニハ幾多ノ便利ヲ與ヘルニハ違ヒナイ、而シテ絕對的對等條約ヲ結ブト云フコトハ帝國臣民積年ノ熱望デアリマスルガ故ニ、明年來ルベキ議會ニ於テ其障害トナルベキモノハ帝國ニ害ノナイ限り體面ニ關係セザル限り、總テ便利ヲ與ヘタイト云フコトヲ思フニ御同様ニ異議ノナイ點デアラウト思ヒマス、故ニ吾々モ此點ニ於テ苟モ此法律ガ對等條約ヲ結ブニ多少ノ便利ニナルナラバ、其提出ノ原因ハ帝國ノ進歩、及位置が之ヲ許スニ適當セルト云フコトノアルニモ拘ラズ、其便利ヲ當局者ニ與ヘルガタメニハ出來ルダケ早ク之ヲ議決シテ通過シタイト云フ希望ノタメニ、委員會モ事ヲ急イダノアリマス、斯ク與ヘベキ便利ハ總テ與ヘ、當局者ノ手腕ヲ揮フニハ少シモ差支ナイダケニ與ヘベキモノハ與ヘテ置イテ、十分ノ勤キヲナサセ、而シテ尙當局者ガ其責任ヲ完ウスルコトが出來ナカッタナラバ、其所ニ至ツテ之ヲ責ムルモ差支ナイノアリマスケレドモ、今日妨害トナルベキモノヲ多少ニ拘ラズ妨害トナルベキモノハ之ヲ棄テ、置イテ取除カセ置イテ、而シテ獨リ當局者ノ責任ヲ責ムルハ酷アルト考ヘマシタ故ニ、吾々ハ與フベキモノハ當局者ニ出來ルダケ廣ク自由ヲ與ヘ、而シテ責ムルトコロノ責任ヲバ殊ニ多ク責メタイト云フ考ニアリマス、且全國ノ此土地買占メト云フコトニ付テハ、當局者ニ於テモ縱令ナイト考ヘテモ棄置クヨリカソレハ除クニ足ルベキ方法ハ出來ルダケノ攻究シヤウト云フコトニアリマシテ、是ハ既ニ居住ニ制限ヲ與ヘ、外國人ニ制限ヲ與ヘタ以上ハ、此點ハ餘程既ニ防禦ノ途ハ考ヘテ居ルノアリマスケレドモ、此上ニモ尙方法ヲ附ケマスレバ國稅、若ハ市ノ稅トシテ空地ヲ遊セテ置ク地面ニ向ツテ稅ヲ取ルト云フ方法モアル、或ハ又土地所有者ノ人力、勞力、若ハ金力ニ依ラズシテ騰貴シタ其價ノ騰貴率ニ向ツテハ稅ヲ課スルト云フ方法モアル、國稅トシテ此等ノコトヲ行フノハナカクノ大問題アリ、世界ノ中デモ現在ノ英吉利内閣ガ始メテ之ヲ行ハントシテ議會ニ提出シタケデアリマスケレドモ、土地ノ稅トシテ此空地ニ稅ヲ課スルトカ、勞力、若ハ其他ノ勤キニ依ラズシテ騰貴シタ、其騰貴率ニ向ツテ稅ヲ課スルト云フコトハ、獨逸ガ最初膠州灣ニ試ミテ結果ガ極メテ好カッタメニ、近來テハ本國各地ノ都市ニ於テクニ實行シテ、先ツ何レモ成蹟ガ宜シト云フコトニナツテ居リマスル、故ニ是等ノ點モ當局者ニ向ツテモ十分ニ考慮ヲ促シテ置キマシタシ、又政府ニ於テ運バストキニハ議院ハ議院ノ權能ニ依シテ此弊ノ生ヅル所ガアレバ、之ニ向ツテ十分ニ防禦ヲ施スルト云フ勤キヲ取ルコトハ、委員會ニ於テ諸君ノ意見ノ略、一致シタ點デアリマス、此ノ如ク諸般ノ點ニ向ツテ豫防スベキモノハ豫防シ、考慮スベキモノハ考慮シテ修正ヲ加ヘタノアリマスル故ニ、今日ニ於テ本案ヲ通過致シタコロガ少シモ帝國ニ於テ差支ハナイ、利益ハアルトモ弊ハ一ト通り豫防シテアル譯デアッテ、若シ尙弊ノ伴ウテ來ルモノガアルナラバ、將來ニ於テ豫防スルコトガ出來ルガ故ニ、之ヲ通過シテ宜シト云フノガ委員會ノ大多數ノ意見デアリ、一二三ニ尙早イ、之ヲ次ノ議會マニ延バサウト云フ說モアリマシタケレドモ、是ハ極メテ少數ニ於テ消滅シテ、大體ハ本案修正通り報告スルコトノ榮ヲ得ルニ至ツタノアリマス、故ニ願クハ諸君ニ於テモ満場一致ヲ以テ御賛成アランコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君） 服部綾雄君

○服部綾雄君 反對ノ理由（委員長ノ今ノ御報告ノ中二十分籠モヲ居シタモノアリ、再び繰返スハ無益ノコトデスカラ私ハ之ヲ略シマス、唯違ウタル點ヲ申述ベルナラバ、條約改正ノタメデハナイケレドモ、條約改正ノ便利ニモナルコトアルカラシテ外務大臣ノ自感ズベキモノデアリマス、斯ウ云フモノヲ取除イテヤツラ宣カラウト、斯ウ云フデアリマス、内閣ヲ信セラレテ動キノ自由ヲ與ヘルヤウニ斯ウ云フ不自由ノモノヲ取シタ方ガ宣カラウト云フ點ニ於テ違ヒガアリマス、根本ニ違ヒガアル、超然主義ノ内閣ハ斯ウ云フトキニ不便ヲ感ズベキモノデアラウト思フ、何ガタメニ今日ノヤウナ場合ニ斯ウ云フ案ヲ提出シナケレバナラ又必要ガアルノデスカ、若シ是ガ政黨内閣ニアツナラバ之ヲ保留スルコトが出來ル、今日此議會ニ於テ之ヲ可決シマシテ相對シテ事ヲ談ズルトコロノモノニ便利ヲ與ヘルノ必要ハナイノデ、國民ヲ基礎ニシテ立テタルトコロノ内閣アルナラバ、所謂政黨ナルモノニ重キヲ置カル、内閣アルナラバ衆議院ニ於テ大多數ヲ占メテ居ルトコロノ議員ヲ持テ居ラル、内閣アルナラバ、成ルベク斯ウ云フコトハ其保留スル必要がアル（ヒヤー）ト呼フ者アリ）私ハ政黨内閣ヲ望ムトコロノ一人トシマシテ斯ウ云フ不便ガアリテ、然ルベキモノアルマイカト思フ、若モ之ガ西園寺内閣アルマシタナラバ、今日斯ウ云フ案ガ提出セラル、テアリマセウカ、私ハ是ハ大臣ノ手ニ委ネテ此便利ヲ計ラスルヨリハ、議會ガ之ヲ呼フ者アリ）委員會ニ於テ大臣ノ云ハレタルトコロハ總テ斯ウ云フ風デアリマス、頗ル重大ノ關係が問題アルト云フコトヲ仰セラレテ、此法律ガ成立致シマシテモ、直ニ實行スル譯デハゴザイマセス、實施スルマニハ餘程時間ガアラウト考ヘマスカラ、夫迄ノ間ニ海外ノ諸國ニ於テ此外國人、殊ニ日本人ノ土地所有權ニ付テ如何ナル致方ヲシテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、更ニ精確ナル調査ヲ致シマシテ、ソレニ依シテ所有權ヲ與ヘル國ト、與ヘナイ國トノ區別ヲ設クル考デゴザイマス、米國ノ――又飛ビマシテ「米國ノ土地ニ關スル法制ハ殊ニ精確ナル調査ヲ要スル譯デゴザイマス、先日御手許ニ回シマシタ此外國ニ於ケル土地所有權ニ關シマシテ調べタモノハ、是ハ一應ノ調デゴザイマシテ、大分マダ精確トハ申兼ネル次第デゴザイマスカラ、法律ノ實施マニ六更三極ヶ精確ナ調リテゴザイマス（トスウ云フノデアリマス、サレバ茲ニ長イ間ノマダ準備時間ガアルノデゴザイマス、ダガ成ルベクナラバ事起シテ國民ノ反對ヲ受ケテハナラヌガ故ニ、早ク之ヲ承諾サセテ置カウト云フ、成程吾々ガ之シイト云フコトニナツテ居リマスル、故ニ是等ノ點モ當局者ニ向ツテモ十分ニ考慮ヲ促シテ置キマシタシ、又政府ニ於テ運バストキニハ議院ハ議院ノ權能ニ依シテ此弊ノ生ヅル所ガアレバ、之ニ向ツテ十分ニ防禦ヲ施スルト云フ勤キヲ取ルコトハ、委員會ニ於テ諸君ノ意見ノ略、一致シタ點デアリマス、此ノ如ク諸般ノ點ニ向ツテ豫防スベキモノハ豫防シ、考慮スベキモノハ考慮シテ修正ヲ加ヘタノアリマスル故ニ、今日ニ於テ本案ヲ通過致シタコロガ少シモ帝國ニ於テ差支ハナイ、利益ハアルトモ弊ハ一ト通り豫防シテアル譯デアッテ、若シ尙弊ノ伴ウテ來ルモノガアルナラバ、將來ニ於テ豫防スルコトガ出來ルガ故ニ、之ヲ通過シテ宜シト云フノガ委員會ノ大多數ノ意見デアリ、一二三ニ尙早イ、之ヲ次ノ議會マニ延バサウト云フ說モアリマシタケレドモ、是ハ極メテ少數ニ於テ消滅シテ、大體ハト云フコトハ所謂斯ウ云フトコロノ便利ニナルノデアルト思フ、政府ニ於テ仕事ヲスルト云フ場合ニ於キマシテ非常ナ便利ガアリマスガ、其政府ナルモノハドウ云フモノデアルカラシテ事ニ臨テ仕事ヲシテ居ル、其時ニ前日ヨリ多クノ準備ヲ致シマセヌモ大切ナルキニ於テ氣轉ノ利クコトノ出來ルノハ政黨内閣アルト思ヒマス、ドウ云フ譯デ此政黨内閣ナルト云フコトハ所謂斯ウ云フトコロノ便利ニナルノデアルト思フ、政府ニ於テ仕事ヲスルセラル、議員モ、又吾々モサウ云フモノデナイト思フ、決シテサウ云フモノデナイト思フ、首領ガ事ニ臨テ仕事ヲシテ居ル、其時ニ前日ヨリ多クノ準備ヲ致シマセヌモ大切ナルキニ於テ反切ナル問題ノトキニ緩ミヲ與ヘル、斯ウ云フトキニ便利ヲ與ヘルコトハ何デアルカト云ヘバ、平素政黨員ナドハ斯ウ餘り入用デナリ、所謂一視同仁ト云フ道德上ノ、言葉アリマスガ、ドレニ依シテ仕事が出來ルト云フ立場ニ立テ居ル平素政友會ニ於テ反

對スルモノニアリマス、調査ノ不備ト云フコト、相互ト云フコトテアリマス、相互ト云フケレドモ、此相互ト云フ間ニ未ダ調ベラレザルコトガ多クアル、殊ニ土地ノ種類ノ如キ米國ニ於テモ加奈陀ニ於テモ、而モ明白ニ言現ハシタルモノニアラザレバ、外國人テモ決シテ土地ノ官有地ノ拂下ナドヲ受ケルコトハ出來ナイテアリマス、是ハ委員會ニ於テ井上サンノ御質問ガアリマシタガ、ソレニ對シテ斯ウニ云フ答ガアリマス、「其事ハ確ニ承知致シマセヌ」是ハ大臣ノ御言葉アリマス、ソレカラ翠川君ガ御尋不ニナツタキニハ「其後調ベタモノガアレバ出シマス」御調ベニナツタモノガ有ルカ無イカスラ御承知ガナイ、調ベタモノガアレバ出シマスト仰セラテ居ル、私ハ此修正ニ於テ居留ノ制限ガ限ラレテ居ル通り、又土地種類ノ制限ヲ置イテ宜イモノト思ヒマス、必ズ置カレベキモノト私ハ思フノテス、外國ノ事情ヲ明カニ調ベサセルト云フコトハ汎ク申サズトモ一番大切ナル問題ニナツテ居ル、米國トノ關係ニ於テ往々他ノ調ニ於テ不備ナルコトヲ見ルノアリマス、サウシテ内地ノ調ガドレ程出來テ居ルカト云ヘバ、是ハ既ニ委員長ノ御言葉ノ中ニモアル通り、總テノ法律、總テノ勅令、總テノ命令等ニ外國人ニ土地ヲ持タセヌト云フコトニ付テイロ／＼極メラレタモノヲ、之ヲ改メルト云フコトニ付テハ、次ノ議會ニ於テスルト云フ約束アル、サウニフコトナラバ尙更許スト許サヌト云フコトモ次期ノ議會マテ延バハ少シモ差支ナイコトデアル（拍手起ル）殊ニ米國、及加奈陀ハ市民權ノ獲得ト云フコトニ付テハ餘程重キヲ置イテ居ル者共ガゴザイマス、土地ヲ所有シテモ市民權ヲ得ルコトノ出來ナイト云フヤウナ國ニ對シテ、總テ相互ト云フ名ノ下ニ同シモノヲ與フルト云フコトハ、實際ニ於テ決シテ相互主義ノ行ハル、モノテナイト云フコトハ堅ク信ズルモノテアリマシテ、斯ル問題ニ付テハ十分ノ御調が必要アルト思フ、明カニ吾ミノ前ニ示サレテ、サウシテ之ヲ求メラレテ少シモ差支ナイト思フ、平素自分等が主張スルトコロノ内閣組織ノ上ニ於テ希望ヲ持テ居ルトコロノモノニ政友會諸君ノ必ズ不賛成セラル、トコロアルト堅ク信ジマス、今此自由ヲ與ヘルヨリ議會ガ保留シテ置クガ當然ナルモノテアルト思フが故ニ、二讀會ヲ開クベカラズト云フ私ハ主張ヲ述ヘルノアリマス

○議長（長谷場純孝君） 長島鷺太郎君

（長島鷺太郎君登壇）

○長島鷺太郎君 諸君、私ハ委員長ノ修正案ニ賛成ヲ致スモノアリマス、實ハ此案ニ付テハ反對ノ意見ヲ有セラル方ニカ敷アルト云フコトヲ承知シテ居リマスガ故ニ、相成ルベクハ反對意見ヲ有セラル、諸君ノ反對ノ御理由ヲ十分ニ承ツタ上ニ於テ、之ニ對シテ異見ヲ加ヘタイト考ヘテ居シタヌアリマスル、然ルニ反對黨諸君ノ御利口ナル極ク反對ノ御意見ニ付テ私ノ意見ヲ加ヘタイト思フノアリマス、諸君、本案ハ本期議會ニ廣遠タル保留說ヲ御持出シニナツタケデアツタ、恐ラクハ私ガ修正意見ヲ述ベタ後ニ於テ種々ナル反對理由ヲ御述ベナサツテ、私ノ後カラ攻撃ナサル方ガ數アラウト信ズルノアリマスカラ、私ハ凡ソ此法案ニ付テ世間ニ於テ、或ハ委員會ニ於テ、出タトコロノ反對ノ御意見ニ付テ私ノ意見ヲ加ヘタイト思フノアリマス、諸君、本案ハ本期議會ニ於テ保留シツ、ヤツトコロノ土地ノ所有權ヲ外國人ニ與ヘルト云フ破天荒ノ法案アリマスル、併ナガラ我國ノ法制ハ既ニ内外人ニ一視同仁ニ致シテ居ルモノアリマスル、付テ今日マテ保留サレタノアリマスル、併ナガラ此土地ニ對スル所有權ヲ外國人ニ享有サセル云フコトハ、何レノ日カ起ルベキ問題アルノアリマスル、遲イカ早イカ出テ來ル問題

デアツタノアリマスル、其法案が今期議會ニ於テ始メテ現ハレタノアル、諸君、尾崎君ガ言ハレタル通り喜ブベキ現象ハ此法案ヲ讀スルニ於テ排外的思想ノ現レザリシ一事ニアリマスル、吾ニ委員會モ亦謹テ排外的思想ノ誤解ヲ受ケルヤウナ言論ハ聊カタリトモ委員會ニ於テナサヌヤウニ務メタノアリマスル、勿論排外思想ト雖モ或ル時代ニ於テハ強チ排斥スベキコトデナカツタノアル、或ル時代ニ於テハ此排外思想ヲ以テ我國ノ存立ヲ維持シタコトデアリマスル、併ナガラ今日宇内ノ大勢ハ既ニ此排外思想ヲ持ツコトヲ許サヌノアル（「排外ハ米國ニ在リ」ト呼フ者アリ）後トカラ述ベマス、諸君、我國ニ於テハ開國進取ヲ以テ國是トシテ居ルノアリマスル、我國ノ國運ヲ發達セシメタノモ此開國進取ノ政策ニ依ツタコトデアル、而シテ此法案ハ實ニ我國ノ開國主義ヲ中外ニ證明スルトコロノ法案アルノアリマスル、又我國ノ國勢ハ遠人ヲ懷柔スルトコロノ規定ヲ設ケテ居ルノアリマスル、即チ此法案ハ我國ノ法制ノ上カラシテ遠人ヲ懷柔スルトコロノ主義ヲ取テ居ルコトヲル、又人種ト宗教ノ異同カラ致シマシテ、所謂世界ノ文明ノ主義ト云フモノハ、人種ノ異同ヨリシテ、外國ノ間ニ猜疑ヲ招イテ居ルモノ或ハ事實アルト信ズル、其猜疑ヲ排擠スルコトノ出來ルトコロノ機會ヲ與ヘルトコロノ私ハ此法案アルト信ズルノアリマスル、又人種ト宗教ノ異同カラ致シマシテ、斯ル問題ノ解説ヲ除クコトが出來ルノデ、此法案ガ此機會ヲ與ヘタモノト私ハ信ズルノアリマスル、（「ドウ云フ外人がサウニ云フ考ヲ持テ居ル」「默テ聽ケ」ト呼フ者アリ）ソレハ御互ノ御意見故ニ、私ハ此法案ヲ極メテ慎重ニ審議シナケレバナラヌモノアルト信ズルノアリマスル（佐々木安五郎君「慎重ナルヲ要スルが故ニ、保留スベキ必要アリ」黙レ「黙ラナ」と呼フ者アリ）私ハ第一ニ政府ノ原案ニ對スル意見ヲ述ベ、第二ニ之ニ對スルトコロノ修正案ニ對スル意見ヲ述ベ、第三ニ此法案ニ對シテ有セラレルトコロノ反對意見ニ付テ聊カ私ノ所見ヲ加ヘタイト信ズルノアリマスル（佐々木安五郎君「名ニ迷ウテ實ヲ失フ勿レ」ト呼フ「生番黙レ」ト呼フ者アリ）第一ニ私が政府原案ニ大體賛成スル趣意ハ、即チ政府原案ニ於テ相互主義ヲ認メタト云フコトデアリマスル、相互主義ニ付キマンシテハヨ／＼反對ノ御理由アルト信ズルノアリマスル（佐々木安五郎君「ソレダケハヒヤ／＼」ト呼フ）ノ國ガ與ヘタラバ、我モ亦彼ニ同様ノ利益ヲ與ヘヤウト云フ主義カラ此法案が出來タシマシタナラバ、或ハ此法案ハ適當ナルトコロノ處置アルト認メタノアリマスル、（佐々木安五郎君「名ハ相互ニシテ實ハ片務的ナリ委員會ヲ知ラザルカ」ト呼フ）又政府原案ノ中ニ於キマシテ、北海道、臺灣其他國防上必要ナル権太、其他國防上必要ナ區域ヲ除イテト云フコトモ私ハ政府原案ニ賛成スルノアリマスル、併ナガラ尾崎委員長ヨリ報告セラレタル通り、吾ニ委員會ハ此政府原案ニ付テ満足シナインテアル、此點ハ諸君モヤハリ御同感アルト信ズルノアリ（佐々木安五郎君「ソレダケハヒヤ／＼」ト呼フ）即チ政府原案ニ加フルニ、更ニノ制限ヲ以テシタノアル、即チ「居住」ト云フコトヲ以テシタノアル、（長島君、憶セズミヤルベシ」ト呼フ者アリ）何處ノ國ノ法制ヲ見マシテモ土地ト云フモノニ於テハ固ヨリ重キヲ置イテ居ルノアリマスル故ニ、當ニ日本ニ居住ヲ致サヌテ土地ノ所有權ヲ得サセルト云フコトハ是ハ害アシテ益ナインコトアリマスル、夫故ニ吾ニハ政府原案ヲ以テ未ダ不十分ナリト見シテ、之ニ「居住」ト云フコトノ條件ヲ加ヘタノアル、我國ニ於テ居住シテ居ル間ハ土地ノ所有權ヲ得ルコトハ出來マスケレドモ、一旦國土ヲ離レタキニ於キマシテハ土地ノ所有權ヲ失フト云フ制限ヲ加ヘタノアリマス

ル、此「居住」ト云フコトニ付テハ之ヲ法律文ニ現ハストキニ於キマシテハ、委員長報告ノ修正案ノ如クニ「住所」若ハ「居住」ナル文字ヲ用井ナケレバナラズノデアル、或ハ此點ニ付テ反対ノ御議論ガアルカモ存シマセカラ私ハ一應吾ミノ所見ヲ述ヘテ置キタイノアリマスル、外國人ノ居住ト云フコトヲ制限トルナラバ「住所」ダケテ澤山デアル「居所」ト云フ文字ハ要フヌノデアルト云フ御議論が出来ルカモ知レナイ、併ナガラ住所ト云フモノ、或國ノ如キハ生活ノ本據ヲニツモ持ソコトが出来ルノデアリマスル、夫故ニ音ニ住所ト云フ文字ヲ以テノミハ外國人ニ對シテ土地所有權ヲ享有セシムル上ノ條件トハナリニカイノアリマスル、又我邦ノ法制ノ上カラ致シマシテモ外國人ヲ入夫トシ、若ハ養子トスルト云フ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ住所及居所ト云フコトヲ以テ條件ニ致シテ居リマスカ此居住ト云フコトヲ條件トスルトキニ當シテ、之ヲ法律ノ言葉ニ表ハスニハ「住所」若ハ「居所」ト云フ言葉ヲ用井タノハ私ハ極メテ適當ナル修正アルト考ヘルノデアリマス、以上ハ私ガ政府案ニ從テ之ヲ修正致シタルトコロノ委員長ノ報告セラレタルトコロノ案ニ對シテ賛成ラスル理由デゾザイマスル、テ服部君ハ唯今之ニ對シテ時期尙早シデアル、然ルベキ外交ノ手段トシテハ議會ガ之ヲ保留ベルコトガ宜イ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、是が即チ本員ト反対諸君ノ中ノ服部君ト意見ノ異ル點アリマス、外務大臣ハ委員會ニ於テ度々明言サレテ居ルノデアリマス、ドウシテモ此本案が本議會ニ於テ通過シナケレハ條約改正ノ準備ラスルコトが出來ナイト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、服部君ハ此法案ガ條約改正ト何等關係スルコトハナイト言ハレタデアリマスガ、是ハサウデナインデアリマスル（佐々木安五郎君「外務大臣ノ代理ニ辯ズルノカ」ト呼フ「黙レ」ト呼フ者アリ）諸君ガ今マテノ歴史ヲ見タナラバ直ニ分ルノアル、私ガ唯今其歴史ヲ述べナラバ頗冥ナル佐々木君モ直ニ同意サレルデアラウト思フノデアリマス、拍手起ル「外務大臣ハ辯護士ヲ要セズ」ト呼フ者アリ）是迄條約締結ニ付テ度々届層ヲ嘗メタコトハ我邦ノ歴史デアリマス（佐々木安五郎君「君ハ之ヲ忘レタリ」ト呼フ「黙レ」ト呼フ者アリ）治外法權ハ如何デゴザイマス、本期議會ニ於テ議シタコロノ關稅改正案ノ理由トナッタノハ即チ此不利益ナル關稅ト云フモノヲ改正セントスルニアルノデアル、又先程尾崎委員長カラ述ベラレタ通リニ、今尙我邦が甚ダ不利益ナル結果ヲ被リツ、アルトコロノ永代借地權モ處分センケレバナラズ、利益アルトコロノ關稅契約モ結バナケレバナラズ、斯ウ云フ場合ニ於テ一年位ノ歲月ハ間近ノモノデアリマスル、若シ之ヲ次ノ議會マテ保留シテ居シテ、條約改正ハ列國ヲ相手ニ致シマシテ交渉スルノデアリマス、不利益ナル永代借地權モ處分センケレバナラズ、利益アルトコロノ關稅契約モ結バナケレバナラズ、斯ウ云フ場合ニ於テ一年位ノ歲月ハ間近ノモノデアリマス（「モウ宜イ分ッタ分ッタ」分ッタ黙シテ居レト叫フ者アリ）借地權ガ云々、外國人が土地ヲ買占メタナラバ危険ガアルト云フ、斯ウ云フ御意見ヲ提出セラル、モノガアルト私ハ信ズルノデアリマス、之ニ付テハ私ハ一應辯解ヲ試ミテ置カナケレバナラズノモノガ、外國人ハ怖イ、鬼ノヤウテアル、外國人ハエライ、大金持デアルト考ヘタ、其如何ニシテ此現行條約ヲ改正ガ出來タデアリマセウカ（拍手起ル「ソシナコトヲ言フ要ハナイ「耳が痛イ」ト呼フ者アリ）又現行條約ヲ改正セントスルトキニ當シテ何ガ條約トナッタノデアリマスカ、即チ法典ノ編纂ト云フコトが條件仰イテ首領トセラレタトコロノ大政治家ハ外國人ニ法權ヲ委ネントシタノデハアリマセヌカ（拍手起ル「ソシナコトヲ言フ要ハナイ「耳が痛イ」ト呼フ者アリ）又現行條約ヲ改正セントスルトキニ當シテ何ガ條約トナッタノデアリマスカ、即チ法典ノ編纂ト云フコトが條件トナッタノデハアリマセヌカ（「ソレハ以前ノ話グ」ト呼フ者アリ）私ハ其時分ハ亞米利加ニハ參テ居ラス（笑聲起ル）「意氣甚ダ昂ラヌ止メ給ヘ」歎辯ヲ弄スル勿レ「ト呼フ者アリ」外務大臣ガドウシテモ條

約ヲ締結スル準備シテハ、此議會ニ於テ此法案ヲ通過シケレバナラズト言ハレテ居ル、諸君が此議會ニ於テ議了セラレタル關稅改正案ハドウデアルカ、諸君ハ何がタメニ付テ反対ノ御議論ガアルカモ存シマセカラ私ハ一應吾ミノ所見ヲ述ヘテ置キタイノアリマスル、外國人ノ居住ト云フコトヲ制限トルナラバ「住所」ダケテ澤山デアル「居所」ト云フ文字ハ要フヌノデアルト云フ御議論が出来ルカモ知レナイ、併ナガラ住所ト云フモノ、或國ノ如キハ生活ノ本據ヲニツモ持ソコトが出来ルノデアリマスル、夫故ニ音ニ住所ト云フ文字ヲ以テノミハ外國人ニ對シテ土地所有權ヲ享有セシムル上ノ條件トハナリニカイノアリマスル、又我邦ノ法制ノ上カラ致シマシテモ外國人ヲ入夫トシ、若ハ養子トスルト云フ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ住所及居所ト云フコトヲ以テ條件ニ致シテ居リマスカ此居住ト云フコトヲ條件トスルトキニ當シテ、之ヲ法律ノ言葉ニ表ハスニハ「住所」若ハ「居所」ト云フ言葉ヲ用井タノハ私ハ極メテ適當ナル修正アルト考ヘルノデアリマス、以上ハ私ガ政府案ニ從テ之ヲ修正致シタルトコロノ委員長ノ報告セラレタルトコロノ案ニ對シテ賛成ラスル理由デゾザイマスル、テ服部君ハ唯今之ニ對シテ時期尙早シデアル、然ルベキ外交ノ手段トシテハ議會ガ之ヲ保留ベルコトガ宜イ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、是が即チ本員ト反対諸君ノ中ノ服部君ト意見ノ異ル點アリマス、外務大臣ハ委員會ニ於テ度々明言サレテ居ルノデアリマス、ドウシテモ此本案が本議會ニ於テ通過シナケレハ條約改正ノ準備ラスルコトが出來ナイト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、服部君ハ此法案ガ條約改正ト何等關係スルコトハナイト言ハレタデアリマスガ、是ハサウデナインデアリマスル（佐々木安五郎君「外務大臣ノ代理ニ辯ズルノカ」ト呼フ「黙レ」ト呼フ者アリ）諸君ガ今マテノ歴史ヲ見タナラバ直ニ分ルノアル、私ガ唯今其歴史ヲ述べナラバ頗冥ナル佐々木君モ直ニ同意サレルデアラウト思フノデアリマス、拍手起ル「外務大臣ハ辯護士ヲ要セズ」ト呼フ者アリ）是迄條約締結ニ付テ度々届層ヲ嘗メタコトハ我邦ノ歴史デアリマス（佐々木安五郎君「君ハ之ヲ忘レタリ」ト呼フ「黙レ」ト呼フ者アリ）治外法權ハ如何デゴザイマス、本期議會ニ於テ議シタコロノ關稅改正案ノ理由トナッタノハ即チ此不利益ナル關稅ト云フモノヲ改正セントスルニアルノデアル、又先程尾崎委員長カラ述ベラレタ通リニ、今尙我邦が甚ダ不利益ナル結果ヲ被リツ、アルトコロノ永代借地權モ處分センケレバナラズ、利益アルトコロノ關稅契約モ結バナケレバナラズ、斯ウ云フ場合ニ於テ一年位ノ歲月ハ間近ノモノデアリマスル、若シ之ヲ次ノ議會マテ保留シテ居シテ、條約改正ハ列國ヲ相手ニ致シマシテ交渉スルノデアリマス、不利益ナル永代借地權モ處分センケレバナラズ、利益アルトコロノ關稅契約モ結バナケレバナラズ、斯ウ云フ場合ニ於テ一年位ノ歲月ハ間近ノモノデアリマス（「モウ宜イ分ッタ分ッタ」分ッタ黙シテ居レト叫フ者アリ）借地權ガ云々、外國人が土地ヲ買占メタナラバ危険ガアルト云フ、斯ウ云フ御意見ヲ提出セラル、モノガアルト私ハ信ズルノデアリマス、之ニ付テハ私ハ一應辯解ヲ試ミテ置カナケレバナラズノモノガ、外國人ハ怖イ、鬼ノヤウテアル、外國人ハエライ、大金持デアルト考ヘタ、其如何ニシテ此現行條約ヲ改正ガ出來タデアリマセウカ（拍手起ル「ソシナコトヲ言フ要ハナイ「耳が痛イ」ト呼フ者アリ）又現行條約ヲ改正セントスルトキニ當シテ何ガ條約トナッタノデアリマスカ、即チ法典ノ編纂ト云フコトが條件トナッタノデハアリマセヌカ（「ソレハ以前ノ話グ」ト呼フ者アリ）私ハ其時分ハ亞米利加ニハ參テ居ラス（笑聲起ル）「意氣甚ダ昂ラヌ止メ給ヘ」歎辯ヲ弄スル勿レ「ト呼フ者アリ」外務大臣ガドウシテモ條

諸君ノ中ニ於テハ亞米利加ガドウアルトカ、斯ウアルトカ云フコトヲ言ハレマスガ（簡單々々「ト呼フ者アリ）亞米利加ガ晉々邦人ニ——亞米利加ノ洲ガ吾ミノ邦人ニ土地ヲ許サヌ、歸化ヲ許サヌ、或ハ相當ノ教育ヲ施サヌト云フコトニ付テ諸君ガ嗤ハル、ナラバ、ヤハリ是ニ對シテ免ヤ角云フコロノ人ハ、ヤハリ服部君ガ常ニ云ハレルヤウニ、他人ノ眼ニ塵ノアルヲ笑ッテ己ノ眼ノ中ニ梁ノ横ツテアルコトヲ知ラヌト同ジコトアルト私ハ信ズルノデアリマス、私ハ長クハ申シマセヌ、要シマスルニ本案ハ、條約改正ノ準備テ、而シテ此議會ニ是非共議了シナケレバナラヌ必要ガアルト外務大臣ガ辯明サレタル以上ニ於テハ、諸君先づドウセ之ヲ通過セん必要ガアルナレバ本議會ニ於テ之ヲ通過シテ、外務大臣ヲシテ適當ノ手腕ヲ振ハシタラ差支ナインデハアリマセヌカ（拍手起ル）既往ノ外交ガドウ此條約改正ノ準備が出來ズ、是ガタメニ對等ノ條約ヲ締結スルコトガ出來ナカタナラズ、其責ハ諸君、誰ニアルカ、祖先ニ對シ、子孫ニ對シ、私ハ反對諸君ノ責デアルト言ハナケレバナラヌ、吾ミハ責任ヲ知ルトコロノ政黨ノ立場トシテ本案ノ通過ヲ望ムトコロノモノニアリマス

○議長（長谷場純孝君） 高木正年君

〔高木正年君登壇〕

〔拍手起ル〕

〔討論終結ノ動議ヲ出サウデハナイカ「討論終結ヲ以テ威張ル勿レ」今討論終結ヲシテヤルカラ待ツテ居レ「ト叫フ者アリ」〕

○議長（長谷場純孝君）此場合ニ諸君ニ御注意ヲ申シテ置キマス、殊ニ佐々木安五郎君ニ警告ヲ致シマス（「ヒヤ／＼」「ト呼フ者アリ）衆議院規則ノ第百七十六條ニ「何人モ議事中贅聲否聲ヲ發シ又ハ喧噪シテ他人ノ演説及朗議ヲ妨ケルコトヲ得ス」ト云フコトガゴザリマス、因テ議院法ノ第八十七條ニ依リ豫メ警告致シテ置キマス（拍手起ル）

○村松恵一郎君 唯今ノ御警告ニ對シテ一言申上ゲタイコトガアリマス

〔此時發言ヲ求ムル者多シ〕

○議長（長谷場純孝君） 本議事ノ濟ンダ後トテ、議長ニ向ツテノ御問ガアリマスレバ承リマス

○村松恵一郎君 ソレデハ濟ミマシテカラ伺ヒマス

○高木正年君 私ハ此問題ニ付テ——（マダ警告者ガ他三澤山アリマスト叫フ者アリ笑

聲起ル暫ク御靜ニ願ヒマス、私ハ此問題ニ付テ極メテ簡單明瞭ニ申上ケル考アリマス、

凡ソ本期議會ニ提出セラレマシタ法案ニ付テハ頗ル重大ナルモノガ多々アルノデアリマス、

併シ其法案ハ縱令本期議會ニ於テ之ヲ決定セラル、モ次期議會ニ於テ直ニ之ヲ修正

スルノ自由ガアルノデアリマス、單リ此法案ニ於テハスル法案ハ全ク種類ヲ異ニシテ、

一種特別ノ性質ヲ帶ビタ重大ノ法案ナリト云フコトヲ記憶セネバナラヌ、是ハ對等條約ノ上ニ於テ、彼ノ邦國が

他國ニ對シテ一著ヲ輸スルト云フ例ガアルナラバ、免モ角モデアル、決シテ條約改正トハ何

等ノ關係ガ無イノデアリマス、政府ノ手腕如何、政府ノ態度如何ニ依テ條約改正其物

ノ成ルト成ラザルトハ決スルノデアリマス、斯様ニ考來リマシタナラバ、今日ニ於テ勿卒ニ之ヲ議了スルト云フコトハ頗ル時機ニ於テ宜シキヲ得ヌノデアル、外交ノ手段ノ上ニ於テ之ヲ握ツテ置イテ終約談判ヲ爲シテ、而シテ後ニ彼ニ與フルモ一向差支ナインデハゴザイマセスカ、又先刻尾崎行雄君ガ委員長トシテ御演説ニナツタ中ニ、都會ノ土地ノ繁榮ニナベキ現象ニ付テ、最モ力ヲ極メテ詳細ニ御演説ニナツタ、此ノ如ク都會ノ土地ガ繁榮ニナル價が増加スル、是ニ於テ我國ノ資力如何ナルカ、彼ノ邦國ノ人トノ間ニ於テ孰レハ長シタルカト云フコトハ豫メ知リ得ルコトデアリマス、強テ此事ニハ論及シマセヌガ、免モ角モ本期議會ヲ延期シテ、除口ニ此法案ニ對スル本院ノ態度ヲ定ムルト云フコトハ、頗ル今日ニ於テ重要ナル我議會ノ執ルヘキ手段アルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、聊カ茲ニ反對ノ意思ヲ述ベルマテニ止メテ、簡單ニ此ノ如ク申ス次第アリマス

○議長（長谷場純孝君） 菅原傳君

〔菅原傳君登壇〕

○菅原傳君 反對ノ諸君ノ御高見ヲ承ルニ、此案ノ根本義ニ付テハ反對セラレヌ今贊成論者トシテ立タレタ長島君ニ對シテノ反駁ノ一二ヲ酬ヒテ、自分ハ此壇ヲ辭スル

考デアリマスル、私共ハ決シテ排外思想ヲ以テ此法案ニ反對スルノデハナイノデアリマスル、我國民ガ享有スル土地ノ所有權ニ付テ、願クハ外國人ニ對シテ之ヲ與フルニ先ツテハ慎重ナル手續ヲ要スト云フコトガ、吾ミ今日此法案ニ執ルトコロノ精神デアルノデアリマスル、主義デアルノデアリマスル、先刻此法案ヲ延期スルノハ條約改正ノ準備ヲ怠ルモノデアルト云フ御駁擊ガアツタノデアリマス、是ハドウデアリマスルカ、縱令服部君ノ議論ニシテ、本院多數ノ容ル、トコロトナリマシテモ、外國人ニ土地所有權ヲ與フル時日ニ於テハ、時間ノ遲速ハナイノデアリマスル、政府ハ縱令此法案が通過シテモ、外國人ニ土地所有權ヲ與フルニ付テハ、尙幾多ノ法案、勅令、命令、是等ノモノニ對スルトコロノ規定ヲ要セザル間ハ之ヲ與フルコトノ出來ナイト云フコトヲ明言シテ居ルノデハアリマセヌカ、吾ミハ先づ法律ニ於テ改正スベキモノヲ改正シ、其他命令ニ、勅令ニ、總アノ準備ヲナシタ上ニ付テ此法案ヲ共ニ具體的ノモノトナスト云フコトモ、其時間ノ上ニ於テ遅速ハナイト云フコトヲ言フノアリマス、縱令本議會ニ於テ之ヲ延期シタリトテ、決シテ其事實ニ於テハ長島君ノ言フトコロノ事實ト少シモ齟齬ハシナインデアリマスル、次期議會ニ法案ヲ提出シテ、政府が協賛ヲ求ムル其時ニ此法案ヲ議スルモヤハリ其目的ニ於テハ同一ナルノデアリマス、私ハ相互ノ目的ノ上ニ付テ政府ノ手腕ヲ疑フノデアリマス、吾ミ相互通ノ名ノ下ニ於テ、所謂片務的ノ法律ヲ規定スルニアラザルヤフ疑フノデアリマス、吾ミガ目的トスル米國ニ對シテノ土地ノ共有、果シテ米國政府が同一ニ彼國ノ土地所有ニ對スル法案ノ規定ノ權利ヲ中央政府ガ握ラル、ナラバ免モ角モデアル、決シテ是ハ事實ニ於テ行フコトノ出來ナイト云フコトハ、豫メ見エ透イテ居ルテハアリマセヌカ、之ニ對シテ吾ミハ如何ニ相互的ノ約束ヲ爲サントシテモ、彼ノ態度ヲ改メザル以前ニ於テハトテモ行フコトガ出來ナインデアリマス、先づ法案ヲ議スルヨリモ、外務大臣ヲシテ是等ノ場合ニ於ケルトコロノ外交折衝ヲ爲サシメタ上ニテ之ヲ與フルモ一向差支ナインデアリマス、或ハ此法案ヲ延期シタルナラバ、對等條約が出來ナイト云フガ如キ言葉ヲ以テセラル、ガ、單リ米國ニ於テ然ルノミナラズ、歐羅巴ノ強國ニ於テモ外國人ニ土地所有ヲ許サナイ幾多ノ邦國アリト云フコトヲ記憶セネバナラヌ、是ハ對等條約ノ上ニ於テ、彼ノ邦國が他國ニ對シテ一著ヲ輸スルト云フ例ガアルナラバ、免モ角モデアル、決シテ條約改正トハ何等ノ關係ガ無イノデアリマス、政府ノ手腕如何、政府ノ態度如何ニ依テ條約改正其物ノ成ルト成ラザルトハ決スルノデアリマス、斯様ニ考來リマシタナラバ、今日ニ於テ勿卒ニ之ヲ議了スルト云フコトハ頗ル時機ニ於テ宜シキヲ得ヌノデアル、外交ノ手段ノ上ニ於テ之ヲ握ツテ置イテ終約談判ヲ爲シテ、而シテ後ニ彼ニ與フルモ一向差支ナインデハゴザイマセスカ、又先刻尾崎行雄君ガ委員長トシテ御演説ニナツタ中ニ、都會ノ土地ノ繁榮ニナベキ現象ニ付テ、最モ力ヲ極メテ詳細ニ御演説ニナツタ、此ノ如ク都會ノ土地ガ繁榮ニナル價が増加スル、是ニ於テ我國ノ資力如何ナルカ、彼ノ邦國ノ人トノ間ニ於テ孰レハ長シタルカト云フコトハ豫メ知リ得ルコトデアリマス、強テ此事ニハ論及シマセヌガ、免モ角モ本期議會ヲ延期シテ、除口ニ此法案ニ對スル本院ノ態度ヲ定ムルト云フコトハ、頗ル今日ニ於テ重要ナル我議會ノ執ルヘキ手段アルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、聊カ茲ニ反對ノ意思ヲ述ベルマテニ止メテ、簡單ニ此ノ如ク申ス次第アリマス

ヤウニ見受ケマシタガ、此點ハ私共ニ於テ大ニ處、ブトコロガアリマス、大體根本義ニ付テ
差異アルベキ苦ガナイノデアル、苟モ開國進取ノ國是ノ下ニ、吾々が此國運ヲ發展セシ
メントスル國民トシテ、異議アルベキ苦ガナイノデアリマス、彼ガ國ヲ開カントスルニ、我ニ
於テハ之ヲ鎮サンツルノ理義ガナイ譯デゴザイマス、故ニ此點ニ付テハ最早論議スル必
要ガナイト思フノデアリマスル、唯此法案ノ制定スル時機ニ關シ又此法案ヲ用ユル方法
ニ付テ、此法案ヲ決定スル方法ニ付テ、此法案ノ程度ニ付テ、而シテ此法案ヲ運用スル
點ニ付テ、是等ノ點ニ付テ論議スペキコトカト思フノデアリマスル、反對諸君ノ主トシテ
論議セラル、トコロハ、調査不十分アル故ニ延期スルガ宜イ、尙保留スルガ宜イト云フ
トコロガ主眼ノヤウニ承ッタノデゴザイマスガ、此邊ノトコロハ一理アルガ如クデゴザイマスケ
レドモ、大局ヨリ見マシタラバ、帝國ノ大勢上ヨリ達觀致シタラバ、至ツテ殘墓ナル
論據ノ薄キ議論デハナカラウカト思フノデアリマスル、戰後帝國ノ地位ノ高マリ、國力ノ
進ミ、國民ノ自信力モ増加シタコトハ我モ人モ認ムルトコロデゴザイマスル、而シテ條約改
正ガ眼前ニ迫リ、アル場合、ゴザイマスカラ、此ノ如キトキニ於テ、此土地所有權ニ關
スル帝國ノ國是ヲ定ムルト云フコトハ最モ時機ニ於テ適シタルコトアルト私ハ信ズルノテ
ゴザイマスル、半年ヤ一年保留シタトコロガ、何ノ國ニ益スルトコロガ
アルデアリマセウカ、一時通レニ國家ノ政治上ノコトヲ姑息ニ延期シタトコロガ何ノ國ニ益
ニナルノデアリマス、斷ズベキハ斷ズルノダ、此ノ如キ場合ニ斷案ヲ下スノが必要アルノデ
アリマスル、即チ吾々が條約ヲ改正スルニ方ダテ、我國ノ態度ト云フモノヲ先ツ極メテ、然ル
後ニ徐々ト折衝致スが相當ナル順序ト思フノデゴザイマスル、此點カラ見テ今日此法律
ヲ制定スルコトが最モ必要ア、且適當シタル時機ト私ハ信ズルノデゴザイマスル、次ニ
ハ此土地所有權ヲ自國ノ法律デ極メラドウデアラウ
カト云フヤウナ御意見モアルカノ如クニ承ッタノデゴザイマスルガ、是亦策ノ得タルモノ
デナキコト、私ハ思フノデゴザイマスル、ツマリ此ノ如キ法律ハ、國定法トシテ協定
的デナク、即チ協定的ニセバ、彼ノタメニ拘束セラレ、制セラレ、壓付ケラル、ヤウナコト
ガアルノデアリマスル、苟モ一等國トシテ、所有權問題ニ付テ我帝國ノ態度ヲ自國ノ
法律ヲ以テ定メ置クト云フコトハ相當ナノアル、決シテ條約ニ依テ所有權問題
ヲ極メベキモノデハナイ、條約ニ依テ極メルニ先ツテ、自國ノ法ニ依ツテ所有權問題
ニ對スル態度ヲ決定シ置クガ順序デアル、又策ノ得タルモノト私ハ信ズルノアル、而
シテ程度問題ニ付テハ如何デアラウカ、此事ニ就テハ私共モ政府案一贊成スルコトハ出
來ヌノデアリマスル、二千五百年以來寸地ヲモ外人ニ所有權ヲ與ヘザル此帝國ノ歴史
ガ、茲ニ始メテ外人ニ土地所有權ヲ與ヘルト云フ新紀元デアリマスカラ、之ニハ慎重ナル
著實ナル態度ヲ以テ進ムコトハ必要ト私共考ヘルノデゴザイマスル、政府ノ案ノ如キハ無
ヨリ有ラ生ズルト云フ如ク、今マテ少シモ與ヘザルトコロノモノヲ全然開放スルト云フ次
第アリマスカラ、吾々が此主義ニ於テ認ムルシテモ其程度ニ於テハ反對ヲ表シタノデ
アル、故ニ或ハ居住ニ關スルコトナリ、或ハ内務大臣ニ權限ヲ與ヘルコトナリ、或
付テ年限ヲ付スルナリ、或ハ地方ニ付テモ権太、北海道ト云フガ如ク制限ヲ加ヘルナリ
除外例ヲナスガ如ク相當ノ漸進的態度ヲ以テ修正ヲ加ヘタ次第ゴザイマスル、而シテ
終リニ此法律ノ運用ニ付テハ如何アル、適用ニ付テハ如何デアラウカト云フコトニ付テ
ハ曩キニ尾崎委員長ヨリモ報告ニ相成ラヌ次第アリマスルガ、十分政府ノ言明ヲモ得
タノデアリマスル、申上ケルマデモナク、此法律ヲ適用スルニ當ツテ聯邦制ナル亞米利加

合衆國ノ如キノニ對スル折衝ハ最モ困難ナルベキコトハ豫期スルトコロデアリマスル、相
互主義ヲ嚴格ニ互ニ適用スル場合ニ於テハ餘程困難デアラウカト思フ、サリナガラ困難
ナルタメニ彼ニノミ與ヘ、我ニ得ルトコロナシト云フコトハ、吾々ノ許スコトノ出來ヌトコロ
デゴザイマス、故ニ此點ニ付テハ外務當局者ノ言質ヲモ得タノデアリマスルガ、當局者ニ
於テモ出來得ル限り努力シテ此任ニ當ラントスルト云フコトハ言明シテアルノダ、若シ
現實ニ此相互主義ヲ行フコトガ出來ヌト云フナラバ、唯其責ニ任ズルノミト云フコトニ
吾々ハ其意ヲ諒シタノデゴザイマス、要スルニ吾々ハ開國進取ノ主義ノ下ニ、漸進著實
ナル方針ニ依テ、此修正案、委員長ノ報告ニ贊成ヲ致ス者デゴザイマス

○伊藤大八君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

（「贊成タク」ノ聲起ル）

○議長（長谷場純孝君） マダ通告ガアリマスケレドモ、既ニ討論終結ノ動議が出テ、
贊成ガアル以上ハ採決ヲ致シマス、討論終結ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開カントヲ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 多數、本案ノ討論ハ是ニテ終結致シマシタ

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開カントヲ希望致シマス

（「贊成タク」ノ聲起ル）

○議長（長谷場純孝君） 本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決ヲ致シマス、本案ハ
二讀會ヲ開クベカラズト云フ 服部綾雄君ノ動議モ出テ居リマス、今又伊藤大八君カラ
直ニ二讀會ヲ開クト云フ 動議モ出テ居リマスガ、委員長ノ報告ニ付テ採決ヲ致シマス、
直ニ二讀會ヲ開クベシト云フ 方ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（長谷場純孝君） 多數、本案ハ直ニ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ、故ニ直ニ
二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

○議長（長谷場純孝君） 委員長報告ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○伊藤大八君 本案ハ委員長ノ報告通りニ決セシコトヲ望ミマス
（「贊成タク」ノ聲起ル）

○議長（長谷場純孝君） 委員長報告ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ
議題ニ供シマス

○議長（長谷場純孝君） 外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

○議長（長谷場純孝君） 一讀會ノ決定ノ通り御異議アリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君） 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ二讀會ノ決定ノ通り本案ハ是ニ

第二讀會

○議長（長谷場純孝君） 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ二讀會ノ決定ノ通り本案ハ是ニ

第二讀會

テ確定致シマス

○村松恆一郎君 本員ハ先刻議長ノ佐々木君ニ對シテノ御警告ニ對シテ質問ガゴザイマス

〔「無用々々」「謹聽」ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 静ニ願ヒマス

○村松恆一郎君 議長ガ佐々木君ニ對シテ御警告ヲ御與ヘニナツタト云フコトハ一應

御尤モノコトデゴザイマス、併ナガラ他人ノ演説ニ對シテ幾分ノ批評ヲ加ヘタト云フコトハ

果シテ今日ノ佐々木君ニ於テ初メテ出來タ事柄デハナカラウト考ヘマス、今日マテ他人

ノ演説ニ向シテ妨害ヲ加ヘル者ハ何黨ノ何者アルカト云フコトハ、公平ナル議長ハ能ク

御承知ノコトデアラウト思フ、元來大政黨トシテハ成ルベク少數黨ノ意見ヲ謹聽スルト

云フコトガ主意アル、(馬鹿ナコトヲ言フナ)ト呼フ者アリ)然ルニ動モスレバ少數黨ノ

意見ヲ壓迫スルト云フコトガ此議場ニ於テノ有様アル、併ナガラ此場合ニ於テ既

ニ大政黨トシテ此ノ如キ態度ニ出ツル以上ハ吾ミ少數黨ハ已ムヲ得ズシテ正當防衛ノ

態度ニナラヌ(「無用々々」「ト呼フ者アリ)敢テ事ヲ好ム者デハアリマセスガ、是ハ已ムヲ得

ナイノアル、若シ大政黨ニシテ果シテ言論ノ自由ヲ尊重シテ、他人ノ演説ヲ傾聽スル

ダケノ德義ヲ持ツテ居ラル、ナラバ吾ミ何ヲ苦シテ此ノ如キ態度ニ出マセウ、然ルニ今ニ

至シテ初メテ佐々木君ニ向シテ御警告ヲ御與ヘニナツタト云フコトハドウ云フコトデゴザイ

マセウ、若シ今日ノ佐々木君ノ態度ニ對シテ警告ヲ與ヘルト云フコトガ當然ノ處置アル

ルト御考ヘニナツタラバ、今日マテノ他ノ人々ノ行爲ニ對シテ議長ガ警報ヲ御與ヘニナ

ラスト云フコトハ、或ハ局外者が見テ議長ハ怠慢アルト云フヤウナ識ヲ來サンコトヲ甚

ダ遺憾ニ思フノアリマス、議長ハ其點ニ對シテ如何ナル御考ヲ御持チニナツテ居リマス

カ、御説明ヲ請ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 御答ヲ致シマス、議長ハ今日ノ場合否ナ今日ニ限ラズ時々

佐々木君ノ御批評ノ言葉ガ議長ノ耳ニハ澤山入テ居ルケレドモ、本議場ニ於テハ成ル

ベク言論ノ自由ヲ許スト云フコトハ主義ニナツテ居リマス、サウナケレバナラナイ苦テアル、

ソレデ差支ノナイ限り即チ議場ノ秩序ヲ紊サナイ限りニ於テハ議長ハ黙シテ居ツタノア

リマス、ソレデ今日ハ豫メ御警告ヲ申置クト云フ言葉ヲ置イテ、殊ニ佐々木君ニ御注意

ヲ申上ゲタダケノコトアル

〔此時村松恆一郎君、佐々木安五郎君、藏原惟郭君發言ヲ求ム〕

○議長(長谷場純孝君) 佐々木安五郎君ニ發言ヲ許シマス

(藏原惟郭君「我輩ハ先キニ發言ヲシテ居ルガドウカ——然ラバ本員ハ保留シテ

置ク」ト呼フ)

○議長(長谷場純孝君) サウ云フヤウナコトガ即チ議場ノ秩序ヲ紊サナイヤウニ皆サン

ニ御注意、殊ニ藏原君ニ御注意ヲ申シマス

○佐々木安五郎君 「佐々木安五郎君登壇」

○元田肇君 何ヲ討論スルノデスカ、議事日程ハ追ニ進行サレルコト、思ヒマス

○佐々木安五郎君 發言權ヲ得タリ、議長ガ唯今私ニ向シテ警告ヲ與ヘラレタルコト

ニ付テハ私ハ光榮トシテシテ受ケテ置クガ、併ナガラ議長ナルモハ決シテ一黨一派ノ議長デハナイト云フコトヲ御記憶ヲ願ヒタ、政友會カラ選舉サレタモノデハナイ、帝國議會ノ有スル議長アルノアル、故ニ公平ナラザルベカラズ、「當リ前ノコトヲ云フナ」ト呼

フ者アリゾレナラ政友會ノ議長ト思フカ、分ラヌヤツダ、議長ハ政友會ノ議長デハナイ

〔此ノ如キ議長ハ退場ヲ命ゼラレタシ」ト呼フ者アリ〕ソレデ議長ガ公平トスルナラバ、今

日吾輩ニノミ對シテ警告ヲ與ヘルト云フコトハ、村松君ガ言ツタ如ク是ハ不公平デハアル

マイカト思フ、ソレハ今日唯今ノ事例ヲ以テ之ヲ言ツテ見ルト、現ニ長島君ハ此壇上ニ

テ何ト言ツタ、頑冥ナル佐々木安五郎君ダト言ウタ、是ハ言論ノ批評デハナイ、演説ノ

批評デモナイ、即チ人身攻撃デアルノアル(「取消シタ」ト呼フ者アリ)取消シテハナイ

甚ダ曖昧ナル言語ヲ以テ居ツタ、頑冥ナル佐々木安五郎ト云フコトヲ言フノハ人身攻撃

デアル、其人身攻撃ヲシテ議院法ニ違反シテ居ル長島君ハ政友會ノ出デアルタメニ、之

ニハ警告モ何モ與ヘズ、吾輩ニ向シテノミ之ヲ與ヘルノハドウ云フ譯アル、是ガ即チ不

公平デナイト云フコトガ言ヘルカドウカ、公平ナル天下ノ眼ヲ以テ不公平ナリト

云フコトヲ言フノデアル、ソコニ第九十二條ニ依シテ見ルト、「他人ノ身上ニ涉リ言論ス

ルコトヲ得ス」トアル、是ハ人身攻撃ニナツテハナラヌ演説ノ批評ナラ宜イケレドモ、人身ノ

攻撃ヲシテ居ルデハナイカ、曖昧模糊ノ中ニ之ヲ葬ツテシマツテ居ルカ、若シ議長ガ公平

デアルナラバ義理ノ子供トトキ先キニ打ツカト云フト音子ヲ先キニ打ツテ後

ニ義理ノ子ヲ戒メルノガ當前デアル、然ルニ政友會ニ屬セザル吾輩ノ方ヲ先キニ槍玉ニ舉

グテ置イテサウシテ政友會ノ其人ニハ一言ノ注意モ警告モ與ヘナイト云フコトハ、議長ノ

所置が公平デアルト云フコトガ言ヘルカドウカ、若シ議長ガ此九十二條ニ依シテ

議院法ニ依シテ長島君ニ警告ヲ與ヘルトキハ吾輩ハ第九十三條ニ依シテ「議院又ハ委員會ニ於テ誹謗侮辱ヲ被リタル議員ハ之ヲ議院ニ訴ヘテ處分ヲ求ムヘシ」斯ウ云フトコロ

ノ第九十三條ヲ出サウト思フガ、是ハ議長ガ公平デアルカナイカト云フコトヲ慥メルマデ

吾輩ハ是カラ議席ニ座テ待シテ居ル、此コトダケ申シマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今ノコトニ付テ明カリ辯シ置キマス、長島君ガ前ノ演説

中ニ頑冥不靈ト云フ言葉ヲ人ノ名ヲ指シテ申サレタ、(「不靈トハ言ハヌ頑冥ダケダ」ト

呼フ者アリ)頑冥ト云フ言葉ヲ述ベラレタ、ソレハ諸君ノ御記憶ニ新ナルガ如ク、長島

君ハ確ニソレヲ取消サレタ、(「ソレハ取消シテ居ヌ」ト呼フ者アリ)議長ハ確ニ聞イテ居ツ

タ、(速記録ヲ調べロ)ト呼フ者アリ

(藏原惟郭君登壇)

○藏原惟郭君 満場ノ諸君、今日ハ佐々木安五郎君ガ警告ヲ受ケラル、ニ連レテ

此惟郭ヲ議長ノ警告ヲ豫メセラル、光榮ヲ有シタノデアル、私ニ議長ガ警告ヲサレルト

云フコトハ餘程覺悟ヨリ發言サレタコトデアルト信ズルノデアル、藏原惟郭ナル者ハ尋常

モアリ、勝モアル人間デアル、如何ナル理由ヲ以テ私ニ警告ヲ與ヘラレタノデアルカ、議長

ハ當ニ公平ト云フコトヲ任セラレテ居ルヤウニ思アル、公平アルナラバ何故ニ佐々木君が言ハレタル如ク、又村松代議士ガ言ハレタル如ク、一派ニ對シテノミ此ノ如キ警告ヲ連發セラルノアルカ、議長ノ耳ガ遠イト云フコトヲ人ハ「言フケレドモ、私ハ信ゼヌノアル、或人ハ猶ニ行シテ耳ヲ怪我シタメニ片一方ノ議長ノ耳ハ、聽エナイト云フコトヲ言フケレドモ、苟モ議長ノ席ニ在ル以上ハ耳ニ於テ完全ナルノミナラズ、心ニ於テモ尙更完全テアリ、公平テナクテハナラズ、若シ教育上ノ言葉ヲ以テ言フナラバ均一ナル發達ヲ遂ゲテ居ル人デナケレバナラズ、又均一ナル公平ト云フコトガ吾々ガ議長ニ對シテ神聖アルト尊敬ヲ表スル所以アル、若モ此點ニ缺ケル所ガアルナラバ、即チ議會ノ議長デハナイ、帝國議會ノ議長デハナイ、所謂政友會ナルモノノ議長デアツテ、其滿場ニ於テハ此ノ如キ議長ハ何等ノ發言權ヲ有セナ、何等ノ議場整理ノ權力モ有セヌト拙者ハ信ジテ居ルノアル、其所謂均一ナル發達、茲ニ公平ナル觀念ヨリシテ吾輩等ニ警告ヲ與ヘラレタルコト、思フ、而シテ議場ヲ紊亂スルトカ、議事ノ進行ヲ妨害スルト云フ事實ハ何處ニ在ルカ、議事ハササト進行シテ、居ルデハナイカ、議事ハ進行シテ居ルデハナイカ、ソレノミナラズ——ソレノミナラズ從來ノ政友會ノ態度ハドウ云フモノノアリ吾々ガ演説スル毎ニ笑ヒ、罵倒シ、而シテ愚弄シテ居ルデハナイカ、證據ガアル、證人ガアル、ノミナラズ國民ヲ代表スルトコロノ滿場ノ諸君竝ニ國民ノ代表者タル議會ノ傍聴者ハ悉ク是ガ證人アルノアル、而シテ政友會中ニ於テハ五人六人バカリノ人ハ常ニ妨害シテ居ルノアル、(「名ヲ示セ」ト呼フ者アリ)吾輩ハ議長ガ分ラヌナラバ、其指名ヲスルコトガ出來ルガ、常ニ騒イデ居ルデハナイカ、常ニ侮辱、愚弄、議場ノ整理ヲ妨ゲテ居ルデハナイカ、大政黨ニシテ尙且然リ、而シテ即チ少數黨ニ向シテ議長ハ頻ニ警告タマク速發サレルノハ何事アルカ、吾輩ハ此ノ如キコトニ屈服スル人間ニハナイノアル、五千万人ノ國民ヲ代表スル一人アル、況ヤ江戸ツ子ヲ代表スル一人アル、議長必ズ記憶セラレヨ、滿場ノ諸君モ記憶セラレヨ、諸君、戲談デハナイ、議長ガ屢々警告ヲ勸告スルガ如キ態度ハ、議長ノ神聖ナル、其慎重アルトコロノ態度ヲ自ラ輕ズル所以アルノアル、議長ノ一言一句ハ國家國民ノ所謂則テナケレバナラズ、帝國議會ノ神聖ナル則テナクテハナラズ、然ルニ一時ノ反對黨ノ言論ノダメニ大政黨ナル後援ガアルガタメニ、議長ハ空シク徒ニ茲ニ輕々シク警告ヲサル、ト云フが如キハ、吾輩等ノ解セザルトコロデアルカラ此點ニ於テ議長ハ如何ナル考テアルカ、又如何ナル理由ニ依テ吾輩等ニ警告サレタカト云フコトヲ謹シテ拜聞シタイノアリマス、是レ吾輩が登壇シタル所以アル〇議長(長谷場純孝君) 日程第八、鐵道營業法中改正法律案ノ一讀會ノ續、委員長伊東大八君

(藏原惟郭君 答辯が出來ナイカ「ト呼フ」)

第八 鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○伊藤大八君 諸君、私ハ鐵道營業法中改正法律案ノ經過、竝ニ結果ヲ報道致シマス、此本案ハ大體ニ於キマシテ刑法ト此營業法トノ制裁ノ權衡ヲ得ルヤウニト云フノ改正デナサイマス、ソレデ十分數回ニ亘る慎重ニ審議ヲ遂ゲマシタ結果、御手許へ差上ダマンダルトコロノ改正ヲ致シタ澤テゴザイマス、尙本席ニ於テ活版ノ遺漏ガゴザイマスカラシテ此所ニ其コトヲ申シマス、ソレテ其箇條ハ三十五條ノ「鐵道係員ノ許諾ヲ受ケズシテ車内停車場其ノ他鐵道地内ニ於テ旅客又ハ公衆ニ對シ寄附ヲ請ヒ物品ノ購

買ヲ求メ物品ヲ配付シ其ノ他演説勸誘等ノ行為ヲ爲ルタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス」ト云フ此案テゴザイマスルが此拘留又ハ「ト云フ四字ヲ削ルト云フコトニ委員會テハナリマシタ、其外四十二條中ニ「罰金ノ刑ニ該ルヘキ輕罪若ハ違警罪」ト現行法ニアリマスノヲ「罰金拘留又ハ科料ノ刑ニ該ルヘキ罪」ト斯ウ云フコトニ改メルト云フコトニ致シマシタ、ソレテ尙第十二條ノ「荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ハ主務大臣ノ定ム所ニ依リ公告ヲ爲シタル後六月内ニ其ノ權利者ヲ知ル能ハサル場合ニ於テハ鐵道其ノ所有權ヲ取得ス」斯ウ云フ法文ニナツテ居リマス、此鐵道が其所有權ヲ取得スルト云フコトハ委員會ニ於テ甚ダ解シ難イ文字アル、是ハ即チ「ハイカラ的」ノ屬僚官吏が翻譯ノ文字ヲ此所ニ是ハ竝立ツテアルモノアルカラ、是ハ日本ノ國民ニ平易ニ分リ易イ文字ニ修正致シタイト云フ議論モアリマシタケレドモ、此鐵道營業法ハ既二十一年先キ出來タトコロノ案デ、此修正案ノミデハアリマセヌ、外ニモアルカラシテ、是ハ唯今鐵道院總裁ニナツテ居ラレルトコロノ後藤男爵ハ「ドクトル」デモアルシ、殊ニ「コンモンセンス」ニハ餘程發達セラレテ居ルトコロノ御方デアルカラ、所謂斯ウ云フヤウナ估値牙ノ文字ハ將來ハ分リ易イセウナ文字ニ改メテ出サル、コトヲ願フト云フノ希望ヲ以チマシテ、滿場一致ヲ以テ修正案ノ通り可決致シマシテゴザイマス、ドウカ滿場ノ諸君大多数ヲ以テ本案ノ通過セシコトヲ希望致シマス

○ト部喜太郎君 議長

○議長(長谷場純孝君) 此法案ニ付テデスカ

○ト部喜太郎君 委員長ノ報告ニ質問ガアリマス——私が質問致シタイト思ヒマス點ハ、委員長が最後ニ御報告ニナツタ點ニアリマス、即チ「鐵道其ノ所有權ヲ取得ス」ト云フ原案ヲ其儘可決シタト云フノアリマスガ、鐵道所有權ヲ取得スト言ヒマス、其鐵道ト云フノハ何ヲ意味スルコトニナルノアリマセウカ、物ノ所有主ニナルノニハ法人デアツテモ、一個人デアツテモ、免モ角人格ヲ持タナケレバ、ナラヌト云フ事柄ハ是ハ當然ナコトデアルノアリマス、公法、私法ヲ通シテ有ラユル法律ヲ見マシテモ鐵道ト云フモノガ、物ノ所有主ニナルナドト云フ、ソンナ奇態ナ法律ト云フモノヲ本員ハ見タコトがナイノアリマス、ソレカラ又ハリ同法ノ中ニ第二十條ノ一ノ前二條ノ所爲ハ鐵道ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス」ト云フノガアルノアリマスガ、鐵道ノ告訴ヲ待シテ論ズルト云フト、告訴人ハ鐵道ガナルト云フコトニ該法文ノ意味ヲ解スルコトが出來ルノアルノアリマスガ、アノ往來ニ敷イテアル鐵道其モノガ告訴人ニナルト云フ理由ニナルノアリマセウ、然レドモ本案ハ現行ノ鐵道營業法ト云フモノが不完全デアルガ故ニ、之ヲ改メセシテ可決シタ理由ト云フモノハ、元ノ鐵道營業法ノ中ニ斯ウ云フヤウナ鐵道ト云フ文字ガ使シテアルノアルカラ、已ムヲ得ズ其儘此ノ如キ文字ヲ保存シテ置クト云フノアルカト思ヒマス、尙質問ヲ致シマスノアリマスガ、委員會ニ於テ政府案ヲ其儘ニ修正テ完全ナモニスルト云フ意味ニ於テ、政府ニ於テハ此案ヲ御提出ニナツタノアツテ、委員會モ亦完全無缺ニ之ヲ審查スルト云フトコロノ意味ニ於テ、本院ヨリ委託ニナツタモノニアラウト思フノアリマスガ、ソレヲ法律ニ不完全不明ナモノガアルカラシテ、其古イモノヲ残シテ其儀相變ラズ漠然トシテ捕ベカラザル鐵道ナドト云フ文字ヲ其儘保存シテ置クト云フ理由ヲ詳細ニ御説明アランコトヲ希望スルノアリマス、伊藤君ハ多クノ案ニ付テ屢々御發言ニナツテ、此法律案等ニ付テハ十分ノ知識ヲ持シテ居ラル、ト思フノアリマ

スカラ、此際ニ此ノ如キ不明漠然タル法律ヲ其儘ニシテ置イテ、法律ニシナケレバナラヌト云フ理由ヲ今一層明瞭ニ御答アランコトヲ希望スルノアリマス

○伊藤大八君 御答致シマス、私ハ平易ニ文章ヲ解釋スルノ技ハ有ツテ居リマスガ、

「ハイカラ」的ノ文字ニ付テハドウモ解釋ニ苦ミマス、又辯明ニモ苦ミマス(「ハイカラ」的)文字トハ何ダ」ト呼フ者アリ夫故ニ是ハ議論ヲ吾ミモ數回重ねタノニアリマスガ、此鐵道ト云フコトハ即チ鐵道營業者ト見ル、即チ私設會社デモ官ノモノデモ、其鐵道ヲ營業スル者ト、斯ウ云フ譯ダサウデゴザイマス、ソレデ是ハ吾ニ於テモ即チ此修正ヲ試ミヤウト心得マシタケレドモ、此營業法ノミナラズ、斯ウ云フ類ノ文字ヲ使テアルモノハ、此鐵道ニ關スル法律ニ付テ往々アルノデゴザイマス、夫故ニ獨リ此營業法ノミノ修正ヲ致シマシタニロガ、外トドウシテモ其權衡ヲ取ルコトが出來ナイ、故ニ吾ニハ希望ヲ述べテ此處ニ贊成ヲ致シテ置イタノアリマス、ソレ以上ノ説明ハ幸ヒ當局者ガ居リマスカラシテ、之ヲ出シタコロノ當局者ニ御質シニナル方ガ私ヨリモ斯ウ云フ文字ノ辯明ハ上手グラウト思ヒマス

○ト部喜太郎君 尚唯今伊藤大八君ノ説明ニ付テ御尋ヲ致シマスガ、此鐵道ト云

フ莫然タル文字ヲ使ッタト云フ法令ハ、鐵道營業法以外ニ於テモ之ヲ認ムルトコロデアルト云フノアリマスガ、甚ダ要領ヲ得ナイ答辯アアッテ、鐵道ニ關スル現行ノ法令中鐵道營業法ノ外ニ、此ノ如キ漠然タル文字ヲ使ッタノハ何處ニアリマスカ、委員會ニ於テ是等ノ點ニ於チ慎重ニ御討議ニナシタ云フコトデアリマスカラ之ヲ承ツテ置キタノニアリマス、併セテ最後ニ後藤遞信大臣ガ御出ニナシテ居リマスカラ、伊藤大八君ノ十分ニ説明が出來ナイ意味ヲ本人自ラ自信シテ居ルノアリマスカラ、遞信大臣ヨリ此點ニ付テ明細ナル答辯ヲ仰ギタインアリマス

〔政府委員山之内一次君登壇〕

○政府委員山之内一次君 此鐵道營業法ノ改正案ニ鐵道ガ云々ト云フコトニ付

テ段々ノ御質問デゴザイマスカラ、政府ノ考ヘテ居ルトコロヲ申上ゲマス、此鐵道ト云フ文字ハ先刻伊藤君カラノ御話ニナリマシタ通リニ、營業法ニハ澤山使ツテアリマス、權利義務ノ關係ヲ規定シマシタコロニ澤山アリマス、サウシテ其意味タル國家が鐵道ヲ營業シテ居ルトキニハヤハリ國家ノ意味シタ精神デアリマス、從來サウ云フ所ニ使フ用語ニナツテ居リマスノデ、今度ノ改正案ニ始シタノアヘナ、或ハ會社ノ場合デアリ、或ハ國家ノ場合ガアリマスカラ、ソレヲ抽象的ニ鐵道ト云フ文字ヲ用井テ居ルノアリマス

○ト部喜太郎君 政府委員ニ尙質問ガアリマス、現行鐵道營業法ノ文字ノ使方ニ依

ルト云フ、鐵道ト云フ意味ハ國有ノ場合ニハ國家ヲ指シ、會社ノ場合ニハ營業者ヲ指ス、一個人ノ場合ニハ其個人ヲ指スト云フコトニナツテ居ルト云フ御説明デアリマス

ガ、鐵道營業法ノ第一條ニ依リマスト、鐵道ノ建設車輛、器具ノ構造、及運賃ハ命令ヲ以テ定ムルト云フ規定デ、此鐵道ト云フ事柄ハ道路ニ枕木ヲ横ヘテ、サウシテ鐵ノ線ヲ敷クト云フ意味が鐵道ト云フ文字ニナツテ居リマス、同シ法律ノ中ニ鐵道ト云フ文字ヲ一人ハ人格ヲ持ツテ居ル國家ヲ指シ、會社ヲ指シ、或ハ一個人ヲ指スノアリト云フ意味デアルガ、一方ニ於テハサウデナクシテ、品物件ヲ指スノアリト云フ事柄ハ如何ニモ私ハ不思議ナル法律デアルト思フノゴザイマス、政府ガ此ノ如キ用語アル現行法ヲ改メテ何人ガ見テモ、伊藤大八君ノ説明ナシト雖モ、政府委員ノ説明ナシト雖

モ、法文ヲ一讀シテ直ニ分ルヤウニ御修正ニナラヌノハドウ云フ譯デアリマスカ、其點ハ尙一層確メテ置キタノアリマス

〔政府委員山之内一次君登壇〕

○政府委員(山之内一次君) 唯今ト部君ヨリ御話ノ通りニ鐵道ト云フ文字ガ澤山使ツテアリマスルガ、其鐵道ト云フ文字ハ此法律デハニ様ニナツテ居リマス、法人ヲ現ハシタ場合ト唯鐵道ト云フ普通ノ意味ヲ現ハシタモノト雙方ニナツテ居リマス、現ニ第八條ノ鐵道ハ直ニ運送ヲ爲シ得ベキ場合ニ限り貨物ヲ受取ルベキ義務ヲ負フト云フヤウナ場合ニハ、此他ニ二十五條ニ規定シタコロノ鐵道ト同シ意味ニナツテ居リマス、之ヲ此際殊更其儘ニシテ置キマシタノハ何等事實ニ不都合ハナイノアリマス、ソレデ政府デハ別ニ之ヲ改ムルノ必要ヲ認メナイノアリマス

○橋本久太郎君 本案ニ付テハ直ニ一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り確定セラレントラニ付テハ直ニ一讀會ヲ開クコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ定規ノ贊成ヲ得テ、二讀會ニ於テ修正ノ動議ガ出テ居リマスカラ、此場合ニハ直ニ一讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、即チ直ニ本案ノ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ直ニ一讀會ヲ開クコトニ決シマス、即チ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

〔高木益太郎君登壇〕

○高木益太郎君 本員ハ鐵道營業法第十三條ノ手荷物ノ滅失毀損ノ損害賠償ノ規程ノ條文ニ付テ左ノ通り修正案ヲ提出致シマス、第十三條ノ三ト致シマシテ「鐵道吏員カ其事務執行上過失ニ因リ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ之ヲ賠償スルノ責ニ任ス」ワレカラ第十二條ノ四トシマシテ「鐵道吏員カ其事務執行上故意又ハ過失ニ因リ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ鐵道院モ亦之ヲ賠償スルノ責ニ任ス」是ハ吾ニガ申上グルマデモナク、鐵道ノ近頃危險ナルコトハ諸君が能ク御承知ノコトデアリマス、委員諸君ハ手荷物ノ損害賠償ノ問題ニ付テスラ審査ヲナサレタノアール、手荷物ヨリ人間ノ生命ノ方が貴重ト云フコトハ無論デアル、然ルニ何ゼ人間ヲ殺シタリ傷ケタリシテ居ルノ責任問題ニ付テ審査ヲナサレヌノアリカ、今明治四十一年度ノ鐵道ノ事故統計ヲ見マスルト、脫線、衝突、顛覆、車輛ノ逸走等、一年ノ間ニ三千八十九件アリマス、サウスルト毎日八件九件ハ脱線衝突等ヲシテ居ルノアール、ソレカラ又是等ノ事故ノタメニ死ニタル人間ガ四十一年度ニ一千四百九人アリマス、怪我ヲシタ者ガ一千八十四人アリマス、此頃東北ノ方ヲ鐵道院總裁が迴タ云フタメニ多少監督ノ點ニハ注意ヲシテ危險ガ少ナクナツタ云フ評判デアリマスケレドモ、四十一年度ノ統計ヲ見ルト是ハ云フコトハ國民トシテ堪ツタモノデハナインアリマス、政友會ノ諸君ハ手荷物ノ問題ニ付テ既ニ賠償ノ點ニ注意セラレタラバ、何ゼ大切ノ人間ノ生命ニ關係スル問題ニ付テ全部必シモ當局者ノ過失トハ云ヘナ、中ニハ風ノダメトカ、天災ノダメモアリマセウ、併ナガラ大體ニ於テ脱線ヲシタリ、衝突ヲシタリ、顛覆シタリ、車輛ガ逸走シタリスルト、人アリマス、此故ニ十三條ノ二ニ於テ鐵道吏員ト云フモノノ業務執行上ノ過失ニ付テハ賠償ノ責任ヲ負ハセル、ソレカラ吏員ダケデハ身分が低イカラサイナ、其吏員ヲ監督シ、吏員ヲ使役スル鐵道院モ全部義務ヲ負ウテ賠償サセル、サウ致シマ

サイマスル、然ルトコロ日韓協約ノ結果ト致シマシテ韓國ノ司法權ハ我帝國ニ於テヲコトガ行フト云フコトニナリシタカラシテ、所謂統監府ノ裁判所ナルモノが韓國內ニ續々ト出ル來ルト云フコトニ相成リマシタ、此間島ト韓國トハ一晩地理が近接致シテ居リマスル處アゴザリマスルカラ、交通ノ上ニ於テ關東都督府ノ方ニ往クヨリハ韓國ノ裁判所ヲシテ取扱ハシムルト云フコトが一番便宜デゴザリマスルが故ニ、此間島ニ於ケル領事が豫審ヲ爲シタコロノ事件、竝ニ領事が爲シタコロノ裁判ニ對スル上訴ハ、韓國ノ統監府裁判所ヲシテ取扱ハシムルト云フノガ、即チ本案ノ趣旨デアリマス、唯今多少ノ疑問ガアルト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ諸君ニ御注意シテ戴キタイコトデアル、ソレハ何デアルカト申シマスルト云フト、唯今申シマシタ此間島ハ日清ノ協約ノ結果トシテ清國ノ領域ニハナリシタケレドモ、是ハ滿洲ノ中テアルカ否ヤト云フコトガ一ツノ疑問デアルノデゴザイマス、滿洲ノ中ノ吉林省ニ屬スベキモノ、如クデアリマスルケレドモ、未ダ然リト竝ズルコトハ出來ナイノデゴザイマス、我帝國政府ニ於テ未ダ之ヲ滿洲ノ中ニ屬シテ居ルトハ認メテ居ラナイ、又清國政府ニ於テモ同様此間島ハ滿洲ノ中ニ屬シテ居ルト云フコトヲ認メテ居ラナイデゴザイマス、此ニ於テ間島ノ領事ノ豫審ヲナシタルトコロノ事件、竝ニ間島ノ領事が爲シタコロノ裁判ニ對スル上訴ハ關東都督府ノ裁判所ノ方ヘ行クベキモノデアルカ、或ハ長崎ノ裁判所ニ屬スルモノデアルカト云フコトガ一ツノ疑問デアル、此點ハ政府當局ニ於テモ幸ニシテ是マニ事件が出來ナカッタカラ宣カッタケレドモ、若シ事件が起シタナラバトウシテ宜カッタカ、其始末ニ苦シグアラウト云フコトヲ明言致シテ居ルノデゴザイマス、此ノ如キ次第テゴザイマシテ、本案ハ此疑問ヲ解決スル一ノ利益モアルノデゴザイマス、左様ナ譯合デゴザイマスカラ委員會ニ於キマシテハ一回會ヲ開キマシテ、トラ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 元田肇君ノ說ハ貴族院ノ回付シタルトコロノ修正案ニ對シテ不同意、此說ニ御異議ガゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマス、即チ滿場一致ヲ以テ貴族院ノ修正案ニ不同意ト云フ決定致シマス、既ニ是ガ本院ニ於テ不同意ニ決シタ以上ハ兩院協議會ヲ求メサルヲ得ナイ場合デアリマス、因テ協議委員ノ數ハ十名トシ、其選舉方法ヲ議題ト致シマス

○元田肇君 此委員ハ頗ル重大デアリマスルが故ニ、直ニ讀場ニ於テ選舉センコトヲ希望致シマス

〔贊成「反対」ト呼フ者アリ〕

○山口熊野君 私ハ唯今ノ元田君ノ動議ニ反対スル者デアリテ、是迄ノ慣例ヲ以テ致シマシタル通リヤハリ是ハ議長指名が穩當ノコト、思ヒマス

〔贊成「ト呼フ者アリ、拍手起ル〕

○福田又一君 私ハ元田君ニ質問致シマスルガ、重大ノ案ト云ヒナガラ常任委員スラモ議長指名デ是迄來テ居リマス、何故ニ此案ニ限テ(「常任委員ハ指名デナイ」ト呼フ者アリ)御待下サイ(「邪魔スルナ」ト呼フ者アリ)此慣例ヲ破ツテ投票ヲスルノアルカ、

議長ハ政友會出身ノ議長デアリテ、政友會ニ不利益ナ委員ノ指名ラスルデアラウトハ思ヘナリ、然ルニ何故ニ政友會ノ諸君ハ投票ヲ用井ル必要ガアルカ、モウ一ツ伺ヒタイノハ之ヲ投票ニシテ時間ヲ費シテ、而シテ手數ヲ要シテ何等ノ利益ガアリマスカ、此ニ點ニ付テ説明ヲ求メマス(「冗辯ヲ弄スルヨリ早く投票シタガ宜イ」ト呼フ者アリ)

○元田肇君 本員ハ當議場ニ於テ選舉スルヲ至當ト認メテ動議ヲ提シタノデアリマス、唯今ノ質問ノ如キハ答辯ノ限リテアリマセヌ(「答辯ハ出來マイ」ト呼フ者アリ)

○藏原惟郭君 此問題ハ從來ノ慣例ヲ何故ニ破ルカト云フコトニ付アハ、直ニ唯今ノ主張者カラ答辯スルコトノ出來ナイト云フコトガ何ヨリモ不公平ナル證據テアル、吾ミハ徹頭徹尾慣例ヲ守ツテ、サウシテ慣例ハ規則ヨリモ殆ド重大ナルモノト議會ニ於テハナツテ居ル、此際議長が此ノ如キ建議ヲ用井ズシテ、議長ノ權能ヲ以テ直ニ(笑聲起ル)選舉サレルノが議長ノ公平ナルコトヲ證據立テル所以デアル

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、此ノ如ク問題が生ジタ以上ハ議長ノ專斷ハ議場ニ於テクコトハ出來マセヌ(「專斷デハナイ、慣例ダ」ト呼フ者アリ)即チ元田君ハ議長ノ極力コトハ出來マセヌ(「藏原惟郭君」退席シヤウ」ト呼フ退席スル者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 元田君ノ發議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 多數

〔拍手起ル〕

○議長(長谷場純孝君) 唯今ノ採決ニ異議ガアリマス「ト呼フ發言スル者多シ」

〔阪本彌一郎君「モウ多數デ採決致シマシタ、即チ是カラ投票ニ掛リマス」ト付キマシテ、貴族院回付ニ係ル修正案ハ直ニ否決サレムコトヲ望ミマス

〔贊成「反対」ト呼フ者アリ〕

○元田肇君 本員ハ先キニ當衆議院ニ於テ決議ヲ致シマシタノヲ至當ト認メマスルニ付キマシテ、貴族院回付ニ係ル修正案ハ直ニ否決サレムコトヲ望ミマス

〔贊成〕

○伊藤大八君 議場ヲ唯今見渡シマスルノニ、此中央黨、國民黨ノ諸君ハ多くハ議員ノ職責ヲ抛テ退場セラレテ居ル〔ノウ〕ト呼フ者アリ、此際ニ於テ議事ヲ進行スルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ存ズル故ニ、此日程十以下ハ延期シテ〔ヤリ給〕ト呼フ者アリ、今日ハ散會ノコトニ願ヒタ

〔贊成〕ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 日程ノ第十以下ハ延期ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、延期ニ決シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス

〔書記朗讀〕

一 貴族院ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
上越鐵道敷設ニ關スル建議案 提出者 根岸 品太郎君
皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戸籍ニ關スル法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

上越鐵道敷設ニ關スル建議案 提出者 根岸 品太郎君

忠治君

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出、耕地整理法中改正法律案、北海道土功組合法中改正法律案、警部補退隱科及遺族扶助料等ニ關スル法律案、輕便鐵道法案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一高山長幸君外三名ヨリ四國ノ交通機關ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一中村啓次郎君外二名ヨリ神社合祀ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

○議長(長谷場純孝君) 次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時四十一分散會

坂	高	元	細川	望	木	戸	杉	柳	宮	宮内	碩君
橋	武	永	森	月	下	水	田	喜	宮	翁	助君
橋	本	元	田	岩	義	寛人	田	右衛門	古	齋藤	珪次君
橋	直	義	田	本	之	君	田	門君	啓	福井	塚田啓太郎君
橋	治	雄	嘉	嘉	弘	君	田	君	三	根岸	碩君
橋	爲	新	太	太	五	君	田	君	郎	吉	小林庄一郎君
泉	又	君	肇	君	郎	君	田	君	君	川	川村村
賀	賀	行	昌	君	君	君	田	君	君	村	福岡精一君
藤	藤	行	義	育	君	君	田	君	君	福	吉植庄一郎君
才	才	行	昌	造	君	君	田	君	君	川	小久保喜七君
賀	賀	行	義	君	君	君	田	君	君	村	吉植庄一郎君
藤	藤	行	君	君	君	君	田	君	君	川	吉植庄一郎君
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	村	吉植庄一郎君

○議長(長谷場純孝君) 右報告ノ順序ニ依リ、大岡育造君、元田肇君、長島鷺君、井上敏夫君、長晴登君、此十名ガ當選アリマス、(拍手起ル)唯今當選セラレタル協議委員ノ諸君ハ本會散會ノ後、直ニ兩院協議室ニ參集セラレテ、兩院協議會長副議長ノ互選ヲ行ハレシコトヲ望ミマス